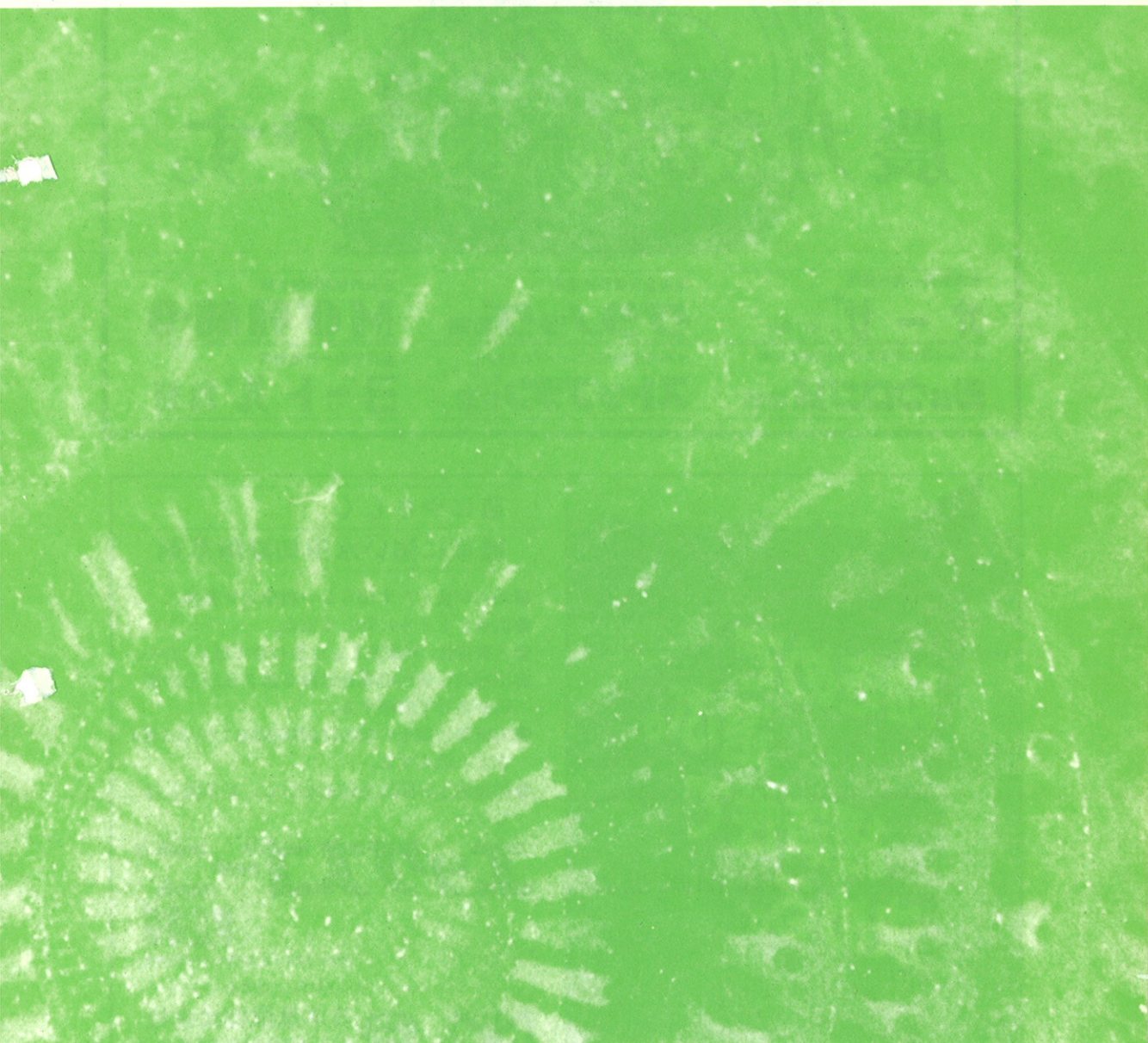


植調

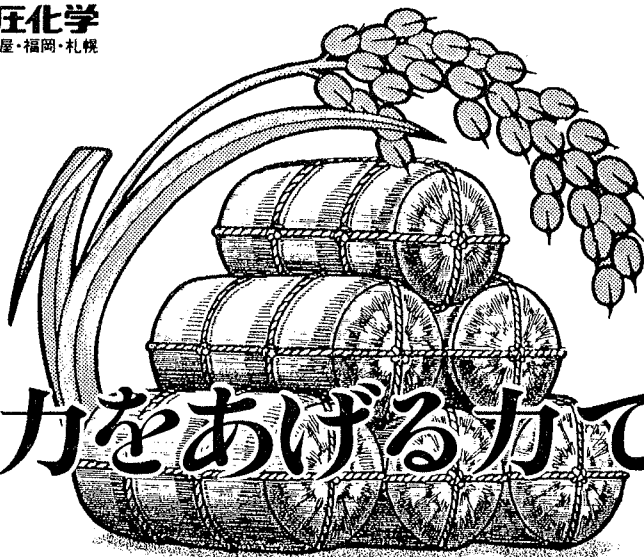
第19巻第10号



財団法人 日本植物調節剤研究協会編



三井東圧化学
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌



農力をあげる力です。

水田初期一発処理剤

オーザ® 粒剤

ホタルイ等に卓効を示す初期除草剤

ショウロシ® M 粒剤

水田全天候型除草剤

グラノック® 粒剤

水田問題雑草にシャープなきれあじ

ストップラン® 粒剤

経済的な初期除草剤

MO® 粒剤-9

水田初期一発処理剤

ヨートル® 粒剤



苗にやさしく

雑草に強い水田初期除草剤

- 効めが長く、すばらしい殺草力を発揮。
- 低温でもイネに対して安全。
- 人畜毒性、魚毒性ともにきわめて低く、安心。
- 田植前に使用の場合は散布後3日以上の間隔をあけて田植する。
- 田植後に使用の場合は田植後8日(ノビエ1葉)までに散布する。
- 散布後3日間以上は止水にし、かけ流しはしない。

エックスゴーニ®
粒剤

®は日本農薬と石原産業の共有登録商標

エックスゴーニ協議会



日本農薬株式会社
〒103 東京都中央区日本橋1-2-5



石原産業株式会社
〒102 東京都千代田区富士見2-10-30

○本剤のシンボルマークです

農 薬 を 憐 れ む

考えてみると、農薬という存在は、憐れである。高名な女流作家が余技でものした糾弾の書が、‘農薬漬け’などという非科学的な言葉に市民権を与え、未だにそれは廃れない。品種改良を業としてきた筆者は、遂にそれ程までに耐薬性の強い作物が育種されたのかと、転感慨に耐えないが、‘馬鹿と鉄は使しよう’という古諺も、差別語使用で禁ぜられたらしい。

農薬の大部分は、絶対という表現を許せば、すべてが‘毒’であろう。虫や細菌を殺すものが、われら人類にだけ、‘絶対に無害’である筈がない。それが使用できるのは、神の摂理によって、病虫害諸君の耐性・抵抗性が、多くの場合、われらや作物のそれに劣るからに過ぎない、と筆者には思われる。

無農薬・無肥料栽培論者の方々と問答（議論ではなく）すると、根本的な点で理解の異なる事に気付く。それは、それらの方々が、‘自然な場’で‘自然に育った作物’が、最も安全であり最も‘自然な味’を持つと思ひ込んでおいでのことである。

卑見をもってすれば、作物（特に野菜）はすべて‘自然な植物’ではなく、人間が利用すべく改造（彼らには、全く‘良’でない）した、‘遺伝する病的な奇型を持つ植物’であり、人間と共生することによってのみ、その特性と生とを保ち得る植物である。そしてその‘奇型で有用な部分’をめぐって、人間と病虫害諸君が、その使用権を争っているのが、すぐれて‘反自然的な’栽培は場の姿である。

農薬なくして、われら人間は強大な病虫害諸君とは闘えない。彼らは、よし心無き徒によっ

目 次 (第19巻第10号)

会長就任挨拶…………… 2

＜日本植物調節剤研究協会会長 杉 頼夫＞

21世紀を見通したバイテク育種の推進
——「バイテク育種2000年」—— …… 3

＜農林水産技術会議事務局長 榊淵欽也＞

農薬業界の回顧と展望…………… 5

＜農薬工業会会長 宗 展生＞

昭和60年の回顧…………… 5

業界をとりまく環境と対策…………… 5

昭和61年の展望…………… 6

西ヨーロッパにおける主要作物の雑草防除…………… 7

＜住友化学工業株式会社 嶺 昭彦＞

1. は じ め に…………… 7

2. 西ヨーロッパの除草剤市場…………… 7

3. 主要作物畑の雑草…………… 8

4. 主要作物の除草剤…………… 11

5. お わ り に…………… 14

昭和60年度春夏作芝生関係除草剤・
生育調節剤試験成績概要…………… 15

昭和60年度桑園関係除草剤・生育調
節剤試験成績概要…………… 21

昭和60年度春夏作野菜花き関係除草
剤・生育調節剤試験成績概要…………… 23

て、自動販売機などに誤用されることがあろうとも、それには何らの責任もない、われらの強力な戦友なのである。

〔社団法人 日本施設園芸協会会長 西 貞夫〕
〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事

会 長 就 任 挨拶

財団法人 日本植物調節剤研究協会会長 杉 穎夫

旧ろう12月26日に開催されました理事会において、理事各位のご推せんによって私としては予想もしなかった会長の職に就くこととなりました。

現在当協会は五つの支部も含めて70余名のスタッフを擁しております。これは植物調節剤の開発、利用に関する研究を主眼とする限り、広範な農業の研究分野のうちでは比較的狭い間口を担当する機関としては、相当のマンパワーではないかと思えます。

かつて振興局研究部に在任中、除草剤の利用研究について何ほどこのお手伝いをしたのは30年余りも前のことになります。当時、国の試験研究機関で雑草及び除草剤利用の研究を専ら担当していたのは農事試験場（鴻巣）の1研究室のみであり、薬剤の数も2,4-D、PCPなどの数種に限られていたと記憶しています。私事にわたって恐縮ですが、私は吉沢長人補佐官（現協会専務理事）、荒井正雄室長らの協力を得て、これら薬剤利用についての全国的研究体制（基礎的、応用的及び実用化研究）をつくり、その研究企画を担当しましたが、これが除草剤利用の組織的研究のいわば草分けでありました。

その後昭和39年に大方の与望を担って当協会が誕生し、以来いく多の困難に直面しつつも、歴代会長始め、役職員の筆舌につくし難い努力によって今日の隆盛をみるに至りました経緯は「植調20年史」にみるとおりであります。

この間、水稻始めその他の作物に対する除草剤・生育調節剤の利用は急速に増加し、その出荷額は農薬全体の3割をこえようとしています。

この膨大な量をみる限り、薬剤の開発、利用を推進する当協会の社会的責任の重大さは到底昔日の比ではないと考えられます。

一方、永年にわたって薬剤のスクリーニングに多大のご協力を願ってきた国公立試験研究機関の現状、とくにその試験のキャパシティを考えると自らそこには一定の限界もあるように思えるので、当協会としては事業実施面で量よりも質的にも一般と強化拡充を図らねばならない時機に来ているのではないか。この意味合いからも当協会の役割は一層大きくなるものと考えます。

さらに眼を国外に転じるとき、先進国日本の国際的責務の一つとして忘れてならないのは開発途上国への農業技術協力であります。ご承知のようにこれら途上国の気候・土壌・作付体系は、温帯先進国のそれとは異質であるばかりか、幾世紀にわたって培われてきた農村社会の伝統と慣習は時にわれわれの理解をこえるものも稀ではありません。

東南アジア・南米・熱帯アフリカなどに位置する途上国の雑草の分布、生態から雑草についての基礎的知見、情報は日本では十分とはいえませんので、こんご当協会としても長期的視点に立って取組むべき問題ではないかと考えます。

このような時機に会長として選任されました私は農林水産省ご当局始め、関係業界、国公立試験研究機関の各位から、ときにきびしく、ときにあたたかいご叱正とはげましがいただければこれにすぎる幸いはないと存じます。

21世紀を見通したバイオテク育種の推進

——「バイオテク育種2000年」——

農林水産省農林水産技術会議事務局長 梶淵欽也

農林水産省では、国際化の進展の中で国内農林水産業の生産性の飛躍的向上をはじめ、食品加工工程の一層の改良やバイオマス変換技術等によるリサイクルシステムの確立等に資するためには、バイオテクノロジー等先端技術の研究開発が重要であるとみて、近年、そのための体制の整備や予算の拡充等に全力を傾注してきました。

昭和58年には、農業生物資源研究所を設立しました。この研究所は遺伝資源部、分子育種部、細胞育種部、機能開発部、放射線育種場等から成り、我が国のバイオテク研究の中核的役割りを担っています。

昭和59年度には、技術会議事務局内にバイオテクノロジー室を設置しました。我が国の農林水産分野におけるバイオテク技術開発政策の企画、調整の拠点としての機能を果しています。さらにこの年度に、バイオテク関係予算として12億円が認められ、農林水産省の重点施策として、産官学の連けいのもとに、組織的研究としてのバイオテク研究がスタートすることになりました。

昭和60年度には、バイオテク研究や育種研究の基盤となる遺伝資源対策に最重点がおかれ、いわゆる「農林水産ジーンバンク」事業に係る予算が新たに認められ、いわばジーンバンク元年ともいふべき年となりました。

今日、農業生物資源研究所を中心に、野菜試や果樹試等の専門場所において、細胞融合や遺伝子組

換え等のいわゆるニュー・バイオテク研究開発が着々と進展しつつあります。そして、従来交雑できなかった種・属間の細胞操作等による画期的な変異の作出が可能になりつつあります。

なおまた、細胞レベルでの選抜技術も魅力的です。つまり、異種属間の融合細胞や、有用遺伝子を組み込んだ細胞等を、細胞から再分化の過程で、耐塩性や耐病虫性などが選抜できるとしたら、選抜効率は測り知れないほど大きいものがあります。また、組織培養技術によるウィルスフリー化や大量増殖技術は、今日までに多くの栄養系植物において実用化されています。

また、薬培養による育種年限短縮の技術も、水稻では実用に供されています。

以上のように、遺伝子や細胞レベルでの育種の基礎となる技術研究がきわめて活潑に進められています。ちなみに、昭和60年度秋季日本育種学会では、発表課題の3割がバイオテク研究分野で占められていたといわれています。

こうした最近のバイオテク研究の動向をふまえ、21世紀を見通して具体的な育種目標を設定し、その目標達成に向けてバイオテクによる基礎的手法開発分野や遺伝資源研究分野、育種の実戦分野などの研究勢力の結集を図る必要があります。

このような観点から、農水省では61年度から「バイオテク育種2000年」の構想にもとづいてバイオテク研究の強化を図ろうとしています。

この構想の基本的な考え方は次のようです。これまで、バイオテクは微生物を中心に研究が活潑に行なわれ、顕著な成果をあげてきました。食品加工、バイオマス変換、生物農薬、動物医薬、ワクチンなど、多方面において微生物バイオテクは研究が進んでいます。微生物バイオテクは研究開発年限が短く、基礎的研究成果が直ちに応用技術の開発に結びつきやすい特徴があります。そのため、産学官の連携になじみやすく、民間研究の助成にも力を入れております。

「バイオテク育種2000年」で当面とりあげようとしているのは、主として植物育種の場面です。この分野は微生物バイオテクと異なり、きわめてリードタイムが長く、リスクも大きいのが特徴です。そのため、2000年にターゲットをすえた息の長い研究開発をすすめようと考えています。

61年度から新規事業として発足させようとしているのは次の2課題です。

一つは「バイオテク植物育種に関する総合研究」です。これは、植物育種分野のバイオテク研究者と育種研究者を中心に、その他関係分野の研究者をも含めた大型のプロジェクトに育てたいと考えています。

バイオテク研究分野としては、共通基盤技術として、一つは細胞操作技術の開発に力を注ぐ必要があります。培養細胞や融合細胞の効率的培養法、分化制御技術の開発、不良環境耐性や病虫害抵抗性等について細胞レベルでの選抜法の開発などの研究を進めると同時に、他方ではDNA操作技術の開発、即ち有用遺伝子の同定、単離、構造解析技術の開発、ベクターの開発、植物細胞への遺伝子の導入法の開発、導入遺伝子の発現機構の解明等に力を注ぐ必要があります。

このような基盤技術を駆使して、有用遺伝子

を結合した融合細胞や組換え細胞（いずれも植物体への再分化が可能なもの）の造成が第1段階の達成目標です。第2段階ではこれら細胞のスクリーニングを行ない、有用特性を有するものを選抜して植物体に育てあげる、これが新しい育種素材となります。第3段階では、この新育種素材を用いて、各種の実用品種を作りあげます。各段階およそ5か年を目処として、15年のプログラムを考えたのが2000年の開発計画なのです。

さらにもう一つの新しい事業として構想しているのが、「地域バイオテク研究開発の促進」です。

このねらいは三つあります。一つは今日隆盛をきわめつつある都道府県段階におけるバイオテク研究を関係県間や大学等との共同研究として仕組み、国の地域農試や専門場所の指導のもとに組織的研究として発展させること、一つは地域におけるバイオテク研究勢力の拡大を図ること、そして一つは生産現場におけるバイオテク技術の実用化を促進すること等です。

研究開発の対象は植物に限らず、家畜や魚貝類や微生物に至る幅広い分野におけるバイオテク手法での地域の生物資源の改良や活用技術の開発をもくろんでおります。

今日、バイオテクは農林水産業の幅広い領域にかかわっています。地域段階では茎頂培養による栄養系作物のウィルスフリー化や大量増殖技術が、そして畜産においては肉牛の受精卵移植技術が実用化技術として定着しつつあります。

一方、組換えDNA技術や細胞融合技術のようないわゆるニュー・バイオテクノロジーは、国や大学を中心に精力的に研究が進められてはいるが、どの程度実用化場面で偉力を発揮するかは未知数です。しかし、新しいバイオテク技術

がやがてプロトプラスの再分化系の中で活用
しうようになったとき、都道府県を含めて組
織培養技術の水準を高めておくことが、次のニ
ュー・バイテクの展開に大きな役割を果たすこと

が期待されます。

昭和61年がバイテク育種元年として記念すべ
き年になることを心から願いつつ、関係者各位
の一層のご精進を期待します。

農 薬 業 界 の 回 顧 と 展 望

農薬工業会会長 宗 展生

昭和60年の回顧

昨年は、比較的順調な気象に恵まれたとい
えよう。4度の台風襲来があり、一部地区での
被害が報じられたものの、全国的にみると無難
に推移した。

したがって、米をはじめとする諸農作物も順
調な成育を示した。農林水産省発表によると、
米の作況は全国平均で「やや良」の105（平年
作＝100）とのことであり、再び在庫過剰にな
ることが懸念されている。この米の豊作は前年
に引き続くものである。

新聞報道によれば、昭和59年度の農家経済
は、農業所得が稲作・果樹の豊作により7.6%
増加したほか、農外所得も4%増加したため、
農家所得は4.7%の増加となり好転したとのこ
とであるが、60年度も豊作にささえられて、こ
の傾向は続くものと思われる。

さて、天候・気象の条件とともに、農家経済
の好不況に強い影響を受ける農薬業界の昨年度
出荷状況は、当工業会の集計によると、製剤出
荷で前年比数量99.3%、金額105.6%であった。
数量が前年を下回ったのは、国内では農薬業界
が成長期を過ぎたことを示し、これはここ数年
間続いている傾向である。一方、金額がかなり

じて5%台の成長率を確保できたのは、農家の
省力化・安全化志向と、より効果が高く、より
安全な新剤の登場によるものと思われる。

つぎに出荷量を剤別にみると、殺虫剤が前年
比102.7%と前年を上回ったほかは、殺菌剤93.
9%、殺虫殺菌剤99.2%、除草剤99.7%とい
ずれも前年を下回り、とくに殺菌剤においては
水稻用が91.6%と不振であり、これはいもち病、
もんがれ病などの少発生に起因するものと判断
される。

ともあれ、諸農作物は豊作で、農家経済は好
転し、当業界もそこそこの実績を確保すること
ができたのは、今年以降の明るい見通しを予測
し得るものとしてまことに幸いであった。

業界をとりまく環境と対応策

当工業会は引き続き流通秩序の維持、安全対
策の徹底、国際協調の推進を政策の三本柱とし
たほか、農薬にかかわる「明るいイメージづく
り」に注力したが、成果はかならずしも充分で
なく、今後いっそうの努力が必要である。

西ドイツに「緑の党」が出現して以来、農薬
使用者、農産物消費者および自然環境をめぐる
安全性追求の世界的連環が強化されてきており、

インドのボパールにおける有毒ガスもれ事故以後、この追求は一段と厳しさを加えたようである。

ブラジルのリオグランデ・ド・スール州の州法改正問題は、農薬問題が政治に直接利用された実例として、世界の農薬企業の耳目をひいた。この問題は同国の最高裁への違憲訴訟にまで発展し、いまだに解決をみていないようである。

今後、農薬にかかわる安全問題は、いささかの過失も許されない実情にあると思われるので、当業界としても政策の最重点を安全性確保におくとともに、農薬の明るいイメージづくりを緊急課題と考えている。

また、昨年は国際協調の第一弾として、毒性試験の新ガイドラインが農林水産省により施行された。近時、新剤開発に要する経費は高騰の一途をたどっているから、この新ガイドラインによる国際整合は、毒性試験費の他国間重複を排除するものとして、欧米先進諸国の企業に好評である。

ここで、農薬事業に関する世界的動向についても少し触れておきたい。すなわち、国際的開発競争の激化とともに、研究開発費の高騰とリスクの負担増加から、欧米の先進諸国では中・小が大企業に吸収される寡占化の時代に移りつつあるように思われる。日本において事情を同じくするものではないにしても、寡占の状態が国内農業に対して得策とも思われない。わが業界としては無用の企業間競争は避け、共存の道を探るべきであると考えている。

また、昨年度は農林水産省主催による「農業資材問題懇談会」が開催されたのも、一つの話題であった。米をはじめとする諸農作物生産価格の国際的割高を是正するため、生産諸資材に要する費用低減の方途を探ろうという意図であ

ったと思われる。この会合には農業機械・肥料・農薬の生産および流通を担当する諸団体の代表が一堂に会したが、各業界ともそれぞれに深刻な業界事情を抱えているため、かならずしも良策を見出すことはできなかった。わが農薬については、収量主義を原則とする低薬量使用と、航空散布等による散布経費の削減等が結論であった。

昭和61年の展望

さて、今年以降の展望について私見を述べることにする。

(1) 使用者・消費者の安全と環境保全対策への一段の厳しさが求められる。農薬業界としては、いささかの過失も許されない。より安全にして、より効果の高い新剤の開発、および安全使用のための技術普及と啓蒙が当業界の使命である。このことは環境保全を目的とする設備投資額の増大と、研究開発および安全使用指導に要する経費の高騰を意味する。価格の決定・改定に際しては、この実情について関係方面の特段のご理解とご配慮を期待したい。

(2) 当業界は国内的にみると、すでに成熟期に進入していることは明白である。国内の農業事情も厳しい。何らかのイノベーションが待望される折しも、一昨年（59年）末、農林水産省のご支援により発足した「農薬バイオテクノロジー開発技術研究組合」の活動は、その後順調に推移している。バイオ技術利用による新農薬の早期出現を期待するのは無理であろうが、欧米先進諸国の大企業がこの技術研究にかける意気込みとその進度をみるにつけ、わが国業界も格段の努力を必要とするのではあるまいか。近い将来、バイオ技術は世界の農業および農薬事業にも革命的变化をもたらすものと確信する。

(3) 農業にかかわる「明るいイメージづくり」に、今こそ業界は一致して取り組むときである。その他もろもろの案件が去来しながら、今年

も昨年同様、自然現象の変化に一喜一憂することであろうが、願わくば平穏な天候と農作物の順調な育成を祈念するものである。

西ヨーロッパにおける 主要作物の雑草防除

住友化学工業株式会社農薬事業部 嶺 昭彦

1. はじめに

筆者は、雑草防除に関心を持って、西ヨーロッパ農業の一端を垣間みる機会があったが、その際調べた情報の一部を紹介する。西ヨーロッパの農業と雑草防除に関しては、既に、宇都宮大学の竹内助教授により、本誌16巻10～11号に、全体像がよくわかる報告がなされている。本報では、西欧の主要除草剤市場であるムギ類とテンサイを中心に、雑草防除の現状をまとめてみた。

2. 西ヨーロッパの除草剤市場

まず、西ヨーロッパにおける主要作物について述べる。表1に示すように、コムギ・オオムギ等のムギ類の栽培面積が圧倒的に多く、続いて、トウモロコシ・ブドウ・テンサイ・パレイショ・ナタネ・ヒマワリ等であり、その他に各種野菜・果樹類が、地中海沿岸地域を中心に栽培されている。

次に、農薬市場について、農薬ビジネスに掲載されたウッド・マッケンジー社の調査等を参考に、図1を作成した。1983年の西欧での全農薬市場は、消費価格で26.6億ドルであり、そのうち、除草剤は33%を占める8.9億ドルである。

表1. 西ヨーロッパの主要作物の収穫面積(1984)

(単位 1000 ha)

国名 \ 作物	コムギ	オオムギ	エンマク	ライムギ	トウモロコシ	テンサイ*	ブドウ*	パレイショ	ヒマワリ	ナタネ	イネ
フランス	5,095	2,128	430	105	1,723	620	1,173	205	490	435	...
西ドイツ	1,622	1,991	552	437	180	445	91	198	...	300	...
イギリス	1,965	1,973	105	6	...	211	...	244	...	251	...
スペイン	2,267	3,944	473	233	436	52	1,700	343	1,001	...	73
イタリア	3,280	434	191	9	968	318	1,370	139	70	1	178
デンマーク	334	1,191	25	123	...	79	...	31	...	181	...
フィンランド	154	562	419	44	...	32	...	41	...	61	...
スエーデン	315	644	425	59	...	52	...	40	...	159	...
オランダ	145	434	12	6	...	130	...	160	...	13	13
その他	1,445	1,107	307	11	174	171	373	343	63	183	...
西ヨーロッパ合計	16,617	14,408	2,939	1,033	3,481	2,110	4,714	1,744	1,624	1,484	264
世界合計	230,922	77,418	23,977	17,023	131,256	9,345	10,101	20,303	13,721	13,646	147,508

* 1981年のデータ。

それに伴って秋発生の問題雑草が増えつつある。

西ヨーロッパ各国の、ムギ畑の重要雑草を表2に示した。表中の雑草の重要度は、発生面積、防除困難さ、雑草害の強さ等を考慮して、いくつかの資料を参考に作成した。

表2に示すように、冬コムギの重要雑草は、ノスズメノテッポウ (*Alopecurus*)・野生エンバク (*Avena*)・ヤエムグラ (*Galium*)・イヌカミツレ (*Matricaria*)・パンジー (*Viola*) 等である。

より詳しく述べると、イネ科雑草では、ノスズメノテッポウ・野生エンバクが発生面積も多く、最重要草種である。これらの雑草は、ムギと似た生育パターンをとるため、広葉雑草より雑草害が大きく、ムギの減収の原因となる。ノスズメノテッポウは、minimum tillage 栽培でより問題になる。この雑草は、除草剤でかなり防除できるが完全でなく、生き残った草は回復し、雑草害を与える。

イネ科雑草の3番手は、チャヒキ類 (*Bromus*) である。発生面積はさほど多くないが、防除が非常に困難であり、輪作を含め、うまい防除体系をとらないと、増えてきたら始末が悪い雑草である。次いで、シバムギ (*Agropyron*)・ライグラス (*Lolium*)・コヌカグサ (*Agrostis*)・スズメノカタビラ (*Poa*) が、問題になるイネ科雑草である。

冬ムギ畑の広葉雑草の中では、ヤエムグラが最重要雑草である。ヤエムグラは、発生深度が深く、ダラダラ発生で、除草剤では防除しにくい。また、日本のものより大型で草丈も高く、雑草害も大きい。次に重要なのは、イヌカミツレとパンジーであり、いずれも除草剤での防除はしにくい。これらの雑草は、除草剤により茎

葉の大部分は枯れるが芯が残り、再生しやすい。特にイヌカミツレは、生育が旺盛で雑草害が大きい。これらの雑草は、西ヨーロッパで長年使用されているホルモン系除草剤には効きが悪いので、発生が増えてきた。また *Veronica* 属のフラサバソウ・オオイヌノフグリも発生面積が多く、同じように主要雑草である。次いで、多年生で防除困難なエゾキツネアザミ (*Cirsium*)、防除は容易だが発生面積の大きいハコベ (*Stellaria*) が続く。暖かくなってからは、シロザ (*Chenopodium*)・アオビユ (*Amaranthus*) といった温帯ではおなじみの雑草も発生する。

3-2. 春コムギ・春オオムギ

春ムギ畑の雑草害は、一般に冬作のものほど厳しくない。その理由の一つは、早春に耕耘が入るので、その時までには生えていた雑草が土に埋めこまれて防除されるからである。また、冬ムギ作に比べ、春発生のイネ科雑草の害がより少ないことがあげられる。

イネ科雑草の中では、野生エンバク (*Avena*) が最重要雑草である。*Avena* 属の重要雑草には数種類あるが、主なものは、*A. ludoviciana* と *A. fatua* の二種である。一般にエンバク類はダラダラ発生をし、特に冬作では防除しにくい。春作でも矢張り重要な害草である。最近では、高価な除草剤を使用すれば、防除は可能になってきている。そのほか、ノスズメノテッポウ・シバムギ・コヌカグサ・スズメノカタビラ等、草種は冬作と大差ない。

春ムギ作では、イネ科より広葉雑草がより重要な雑草となる。タデ科の *Poligonum* 属の雑草はどこでも発生が多く、ミチヤナギ (*P. aviculare*)・ハルタデ (*P. persicaria*)・ソバカズラ (*P. convolvulus*) などが、その主

なものである。これらの雑草は、除草剤には比較的弱い、もし防除が不十分だと草丈が大きくなり、多大の雑草害を及ぼすので、その防除は不可欠である。防除困難で、かつ比較的発生も見られる雑草で最重要な部類に属するものは、ヤエムグラ・イヌカミツレと多年生のエゾキツネアザミである。これらの雑草は、冬作の所で述べたように、除草剤による防除は難しい。

次いで、フラサバソウ・ハコベ・アブラナ科のノハラガラシ (*Sinapis*)・セイヨウダイコン (*Raphanus*) であり、これらの防除は比較的容易である。しかし、アブラナ科のものは生育が早いので、残すと大変である。これ以外では発生面積は小さいが、ヒナゲシ (*Papaver*)・セイヨウヒルガオ (*Convolvulus*) が防除しにくい、やっかいな雑草である。

3-3. テンサイ

テンサイは、ヨーロッパでは重要な砂糖の原料であり、主に請負耕作によって栽培されている。高収益性のため、栽培面積は、一時増加したが、最近の過剰生産により栽培は制限される等、政治色を強く反映する作物である。

テンサイは、初期生育が遅く、草丈もあまり大きくならないため、雑草との競争力は比較的弱い。春耕して冬雑草を防除するにもかかわらず、テンサイ畑の雑草は、春先からの発生期間が長く、大型化するものが多く、強害草となりやすい。

テンサイの重要雑草を表

3に示した。テンサイでは広葉雑草の方がより重要だが、イネ科雑草では、ムギ畑と同様、ノズメノテッポウ・野生エンバクが重要雑草である。また、2年か3年ごとに穀類との輪作をするため、自生の穀類 (*Volunteer cereals*) が雑草として生え、防除困難なため問題となる。フランスでは、シバムギが重要な問題雑草である。

より問題になる広葉雑草では、ヤエムグラ・イヌカミツレが、発生も多く、防除も難しい重要雑草である。防除は容易だが、発生の多いシロザ・タデ科雑草 (ミチヤナギ・ハルタデ等)、ハコベが同じく重要である。防除困難な雑草としては、マーキュリー (*Mercurialis*)・パンジー (*Viola*) があげられる。また、前作の作物が自生して問題化しているが、その中でも、自生のテンサイ・パレイショの防除はほとんどお手上げに近い。

表 3. 西ヨーロッパのテンサイ畑における重要雑草

雑 草 名			テンサイ			
科 名	学 名 (属)	和 名	仏	西独	英	伊
イ ネ 科	<i>Avena</i>	カラスムギ	○	△		○
	<i>Alopecurus</i>	ノズメノテッポウ	△	○	○	○
	<i>Agropyron</i>	シバムギ	◎			
	<i>Poa</i>	スズメノカタビラ			○	△
	<i>Triticum/Hordeum</i>	自生の穀類	△	○		
ア カ ザ 科	<i>Beta</i>	自生のテンサイ			◎	
	<i>Chenopodium</i>	シロザ	○	◎	◎	○
ア カ ネ 科	<i>Galium</i>	ヤエムグラ	◎	◎	△	
ア ブ ラ ナ 科	<i>Brassica</i>	自生のナタネ	○			
キ ク 科	<i>Matricaria</i>	イヌカミツレ	◎	○		
	<i>Cirsium</i>	エゾキツネアザミ	△	○		
ゴマノハグサ科	<i>Veronica</i>	イヌノフグリ属		○		○
ス ミ レ 科	<i>Viola</i>	パンジー		△	△	
タ デ 科	<i>Polygonum</i>	ミチヤナギ、ハルタデ等	△	◎	◎	○
トウダイグサ科	<i>Mercurialis</i>	マーキュリー	◎			
ナ ス 科	<i>Solanum</i>	イヌホウズキ	○			
	"	自生のパレイショ			○	
ナ デ シ コ 科	<i>Stellaria</i>	ハコベ		◎	○	○
ヒ ユ 科	<i>Amaranthus</i>	アオビユ	△			△

◎ (非常に重要), ○ (重要), △ (やや重要)。

3-4. トウモロコシ・ブドウ・イネ等

トウモロコシは、輪作でなく単作が多いので、最近では、多年生雑草が多いことと、トリアジン系除草剤に抵抗性雑草の増加が大きな問題となりつつある。多年生雑草では、ツル性のセイヨウヒルガオ、イネ科のギョウギシバ (*Cynodon*) が、雑草害が大きく防除困難な問題雑草である。発生面積の大きいものとしては、ヒエ・メヒシバ・エノコログサ、広葉雑草では、シロザ・アオビユ・イヌホオズキ・ソバカズラ・ミチヤナギなどがあげられる。atrazin の長年の使用により、atrazin 抵抗性のアオビユ・シロザ・サナエタデ・イヌホオズキ等の発生が増え、問題になりつつある。

フランスのブドウ畑では、セイヨウヒルガオ・ギョウギシバ・スギナ等の多年生雑草が問題雑草である。一方、一年生雑草のエノコログサ・メヒシバ・ヒエ・アオビユ等は発生が多いが、除草剤による防除は割合簡単である。

水稻作では、イネ科およびカヤツリグサ科雑草が多く、ノビエが最大の重要雑草であり、コホタルイ属・野生イネ・エゾノサヤナカグサ等もよく生える。広葉雑草では、アメリカコナギ (*Heteranthera*)・サジオモダカ (*Alisma*) が重要な雑草である。

ナタネ畑の雑草は、播種時期の近い冬ムギと同じ種類のものが多く、ノスズメノテッポウ・

野生エンバク・ヤエムグラ・イヌノフグリ・ハコベ・パンジー等が重要だが、大きな問題雑草の中に自生の穀類があげられることが特徴である。

4. 主要作物の除草剤

4-1. ムギ類

冬ムギと春ムギでは除草体系が異なっている (図2, 図3参照)。冬コムギでは、秋発生のイネ科雑草防除のため、発生の多い所で土壌処理剤が使用され (栽培面積の20~25%), その内の多くが土壌処理剤+茎葉処理剤の体系処理と

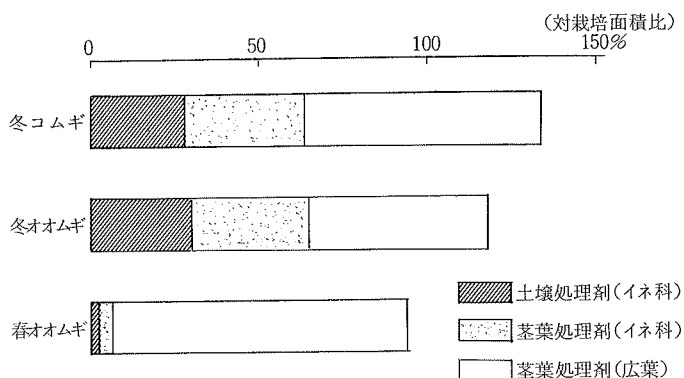
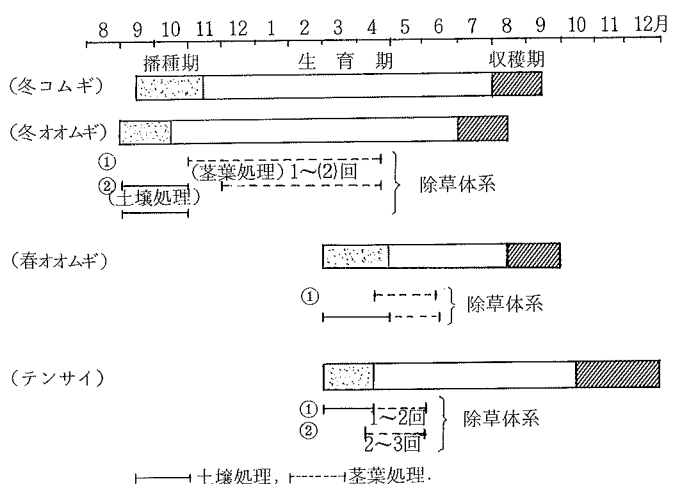


図2. 西ヨーロッパ3国のムギ用除草剤の処理面積 (対栽培面積比)



除草体系の①, ②は施用面積の順番, 無印は面積の小さいもの。

図3. 西ヨーロッパのムギ類, テンサイの栽培および除草体系

なる。しかし、栽培面積の65%程度は茎葉処理剤の1回処理である。ただし、イタリーでは、土壌処理剤施用は非常に少ない。これに対し、春オオムギは、広葉用茎葉処理剤の1回処理が栽培面積の80%と主流であり、2回散布は5%程度で、除草剤を処理しない畑も10~15%はある。冬オオムギは、全体でみると冬コムギに類似するが、国によって状況は多少異なり、イギリスでは土壌処理剤の使用は少なく、西ドイツでは冬コムギよりさらに多い。

これから使用除草剤について述べてゆくが、西ヨーロッパのムギ用除草剤の80~90%が、フランス・西ドイツ・イギリスの3か国で使用されているため、特にことわりのない場合は、この3か国の状況を記述する。

表 4. 西ヨーロッパのムギ用除草剤(1982)

除 草 剤 名	冬 コ ム ギ				冬オオムギ			春オオムギ		
	仏	西独	英	伊	仏	西独	英	仏	西独	英
chlorotoluron	○*	□*	□**	△	○*	○*	□*			
triallate			△*				△		△	△
pendimethalin (+ neburon)	△				△*	○**				
linuron + trifluralin			△		□*		□			
metabenzthiazuron (+ h)			△	△		○*				
isoproturon (+ h)	□*	○**	□**		□*	○*	□*			
isopro. + dinoterb	□*				□*					
isopro. + bentazon		△*				△				
isopro. + h + ioxynil	◎**				○**					
difenzoquat			△*				△*			□*
dichloprop + h	△				△			□		□*
flamprop/benzoylprop	△		□*							
hormones	◎*	◎*	○	●**	□	◎	◎*	◎*	●**	◎*
ioxynil/bromoxynil		△*	□		△	△	○*		△	□
ioxynil/bromoxynil + h	○*	□*	△*	△		△		□*	○*	
dinoterb + h	△*				□			○**	△	
picloram + h	△				□			◎*		□
dicamba + h									△	△*
3, 6 -DCPA			△*							□*
glyphosate + h	△*	△*		△		△*				

(注) 使用面積比: ●50%以上, ◎20~49%, ○10~19%, □5~9%, △(2~5%).
販売金額の多いもの(各国, 作物別): ** (最大), * (大).

冬コムギ用の主要除草剤を表4に示したが、発芽前土壌処理剤は、栽培面積の約20%処理さ

れており、その内50%以上は、ノスズメノテッポウ・野生エンバク防除を主目的に、chlorotoluronが使用されている。その他土壌処理剤としては、methabenzthiazuron (西独), triallate (英), pendimethalin, trifluralin 等が、単剤あるいは混合剤で使用されている。

イネ科用茎葉処理剤は、栽培面積の50%弱に使用されている。その大半は、isoproturon が占め、単剤か、ホルモン剤, ioxynil, bentazon 等との混合剤として使用されている。とくにフランスでは、isoproturon + ioxynil (+ hormon) 混合剤が主要剤である。その他では、国により、methabenzthiazuron, chlorotoluron, difenzoquat も使用され

る。また、野生エンバク防除専用に、多少大きくなった雑草に有効な, diclofop-methyl や flamprop-isopropyl が使用されている。

冬コムギ畑では、広葉用茎葉処理剤が、栽培面積の約70%と、最も多く使用されている。使用除草剤は、安価なホルモン系除草剤が主に使用されているが、ホルモン系に効かない草種が増えたため、最近

は、ioxynil, bromoxynil や dinoterb 混合剤も増えている。

以上述べた通常の除草剤施用以外に、防除しにくい多年生のシバムギ防除や、ムギの刈株除去用に、ムギ収穫後に、glyphosateが使用されている。高価な除草剤であるが、他に有効な手段がないので、使用面積は増えつつある。

冬オオムギは、茎葉処理剤が多く使用され、イネ科剤の isoproturon、広葉剤のホルモン剤と ioxynil が主な除草剤である。西ドイツでは土壤処理剤の使用も多く、pendimethalin が使用されている。

春オオムギは、春耕で冬雑草が一部防除され、雑草害も冬作ほどきびしくないので、ほとんどの畑が広葉用茎葉処理剤の1回処理で済ましている。主要除草剤は、ホルモン剤と、ioxynil, bromoxynil 各単剤か、ホルモン剤との混合剤である。土壤処理剤としては、野生エンバク防除に triallate, 茎葉処理剤として isoproturon, difenzoquat 等が、各々栽培面積の数%に使用されているにすぎない。

最近、麦類の広葉用土壤処理剤として、非常に低用量で有効な、sulfonyleurea系の Glean, Ally 等が開発されており、今後の使用動向が注目される。

4-2. テンサイ

テンサイは、初期生育が遅く、雑草との競争

力が弱いと、換金作物なのでお金をかけてもよいと、ムギ類に比べ、より多くの除草剤が使用される。西ドイツ・イギリスでは、除草剤処理延面積は栽培面積の2.2~2.5倍であり、フランスはもっと多く、平均4回強除草剤が使用されている(図4)。しかし、除草剤の使用基準は国毎に異なるので、除草剤の使用回数と全使用量とは必ずしも一致しない。例えば、フランスでは、西ドイツに比べ散布回数は多いが、1回の施用量が少ないからである。

除草体系としては、図3に示したように、土壤処理剤(表面処理または混和处理)+茎葉処理剤1~2回と茎葉処理剤のみ2~3回が主流である。

土壤混和处理のイネ科除草剤として、triallateが、エンバク・ノズメノテッポウ、自生穀類防除に使用されている。最近、イネ科茎葉処理剤の出現で、混和处理面積は減りつつあるが、安価なので根強い人気もある。また、広葉雑草と同時防除剤として、cycloateと lenacil のタンクミックスも使用されている。土壤混和の広葉剤としては pyrazon が主要剤であるが、ヤエムグラ・マーキュリー・タデに効果が劣るので、より殺草スペクトルの広い metatamitron の使用が増えつつある。

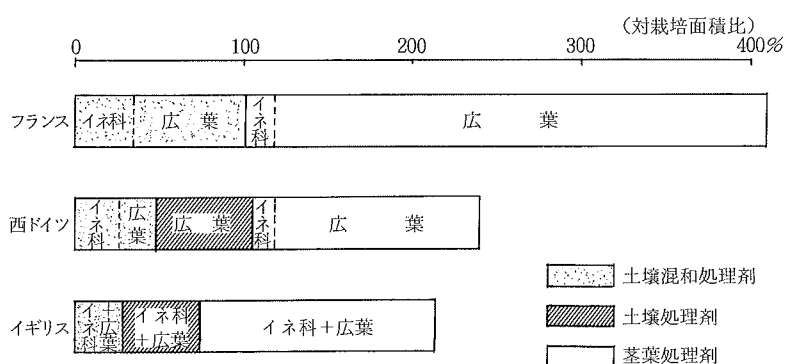


図4. 西ヨーロッパ主要国のテンサイ用除草剤の処理面積 (対栽培面積比)

土壤表面処理剤としては、より選択性幅が広く、ヤエムグラ等にも効く metatamitron が一番多く使用されている。ついで、pyrazonも、依然として使用が多い。また、ethofumesateも混合剤の

相手としてよく使われている。土壌表面処理は、西ドイツ・イギリスで実施され、フランスは混和処理が主流である。

イネ科用茎葉処理剤として、alloxydimが先行し、さらにシバムギ等により効果の高い fluazifop-methyl や setoxydim 等の新剤も使用され始めている。効力が良いので、使用面積が上昇中の分野である。

表 5. 西ヨーロッパのテンサイ用除草剤 (1982)

除 草 剤 名	フランス	西ドイツ	イギリス
triallate/diallate	◎	○	□
cycloate		△	
ethofumesate	●*	◎*	
pyrazon	◎*	◎*	◎*
lenacil		□	
alloxydim-sodium	○	□	
phenmedipham	●**	●*	●**
metamitron	●**	●**	◎*
その他合計 (含混合剤)	◎	△	●(**)

使用面積比: ●50%以上, ◎20~49%, ○10~19%,

□5~9%, △5%未満,

販売金額の多いもの(各国別): ** (最大), * (大)。

広葉用茎葉処理剤が、テンサイ畑では最も使用の多い分野である。除草剤としては、表5に示したように、phenmediphamの使用が圧倒的に多く、単剤や、ヤエムグラ・マーキュリー・イヌホオズキ・イヌカミツレ等への殺草スペクトル強化のため、metamitron, ethofumesateあるいはpyrazonとの混合剤として使用されている。これに次ぐのが、metamitronであり、高価であるが、性能面のよい点が買われている。

まとめると、テンサイ畑の除草体系は、triallate, pyrazon, metamitron, ethofumesate等の土壌処理剤(混和処理を含む)

使用後、phenmediphamを中心とする茎葉処理剤を散布するか、あるいは、alloxydim, fluazifop-methyl や setoxydim等のイネ科剤と、phenmedipham, metamitronを中心とする広葉用の茎葉処理剤を数回散布することで対応している。実際には、各種除草剤の混合剤やタンクミックスが主で、具体的にどの除草剤を使うかは多くの組み合わせがあるが、畑の条件に合わせて、それぞれの地域で最適の防除法が工夫されている。

4-3. トウモロコシ

トウモロコシ畑には、土壌処理剤としてトウモロコシに選択性の高い atrazin が単剤、あるいは simazin, alachlor, metrachlor との混合剤として、非常に多く使用されている。atrazinの連年施用により、耐性の雑草が増えつつあるが、cyanazinも含めてトリアジン系除草剤主流の傾向はあまり変わっていない。

茎葉処理剤としては、安価なホルモン系除草剤や、atrazin耐性雑草防除用に、dinterb や pyridate が使用されつつある。

5. お わ り に

以上、西ヨーロッパの雑草防除の概要を、除草剤が多く使用されているフランス・西ドイツ・イギリスのムギ類とテンサイを中心に述べた。紙数の関係で、他の作物のことは述べられなかったが、その点は、本誌16巻10~11号の竹内安智助教授の報告を読まれることをお勧めする。

参 考 文 献

- 1) 1981 FAO production yearbook.
- 2) FAO monthly bulletine of statistics Vol.8 (1985).

- 3) 竹内安智, 植調16巻10号15頁, 11号2頁(1983).
- 4) 農薬ビジネス, Vol. 16, 613~619 (1985).
- 5) Ministry of Agriculture, Fisheries and Food (U. K) Booklet 2253: Weed Control in cereals.
- 6) 同 上 Booklet 2254: Weed Control in Sugarbeet.
- 7) Weed Control Handbook Vol. I, II, Blackwell.

昭和60年度春夏作芝生関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和60年度春夏作芝生関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は, 昭和60年12月3日(火)に植調会館3階会議室(東京都台東区台東1-26-6)において開催された。

係者67名, 計87名の参集を得て, 除草剤19薬剤(85点), 生育調節剤20薬剤(58点)について, 試験成績の報告と検討が行なわれた。

その判定結果および使用基準については, 次の判定表に示す通りである。

昭和60年度 春夏作芝生関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および 含有量 (%)	試験実施 場所 (例)	試験の種類〔対象芝, 対象雑草, ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. bensulide 細粒 (ロンパー) 〔日本農薬〕	SAP.....10	湯本, 東京農 試, 平塚富士 見, 南山, 中 国G研, 西日 本G研. (6)	適用性〔コウライシバ, 一年生イ ネ科雑草, 細粒剤としての効果 ・薬害〕 雑草発生前; 1000, 1500 g; 土 壌処理.	新規 実 ・ 継	実: 〔コウライシバ, 一年 生イネ科雑草〕 雑草発生前, 1000~1500 g/a, 土壌処理. 継: 処理時期, 薬量と効果, 薬害.
2. CH-07 水和 (ローン クリーナー55) 〔中外製薬〕	アトラジン...15 CAT.....40	程ヶ谷. (1)	作用性〔芝生周辺の各種花木・緑 化樹に対する影響, 連年使用〕 芝生育期; ・50 g<10 l>; (花木類) 茎 葉処理. ・100 g<25 l>; 土壌処理.	継続 〔実〕	・前判定どおり.
3. 同 上	同 上	豊田. (1)	作用性〔芝生周辺の各種花木・緑 化樹に対する影響, 樹種拡大〕 芝生育期;	継続 〔実〕	・前判定どおり.

薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および 含有量 (%)	試験実施 場所 (%)	試験の種類 [対象芝, 対象雑草, ねらい] 処理時期; 散布薬量 (製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
3. CH-07 水和 (つづき)			50 g <10 l>; (花木類) 茎葉処理. 100 g <25 l>; 土壌処理.		
4. DH-841 水和 [大日本インキ]	シアナジン…25 MBPMC…40	植調, 平塚富士見, 南山, 関西G研, 西日本G研. (5)	適用性 [コウライシバ, 一年生雑草全般, 効果・薬害] 雑草発生前～始期; 40, 60, 80 g <25 l>; 土壌処理.	新規 継	・試験年次不足 [薬量 (混合比含む) と効果, 薬害]
5. FRC-84 粒 [昭和ローディア, 昭和化成]	オキサジアゾン ……0.4 CAT……0.2 肥料(N, P, K) …8, 8, 6	湯本, 程ヶ谷, 豊田, 中国G研, 西日本G研. (5)	適用性 [日本芝, 一年生雑草全般, 除草効果・薬害および肥料効果] 雑草発生前; 3, 5, 7 kg; 土壌処理.	新規 実・ 継	実: [日本芝, 一年生雑草全般] 雑草発生前, 5 kg, 土壌処理. 継: 処理時期, 薬量と効果, 薬害.
6. HSW-831 粒 [北海三共]	エンドタール ……2.5 (K塩として 3.5%)	北農試, 札幌国際, 札幌エルム. (3)	適用性 [寒地型洋芝, スズメノカタビラを主とした一年生雑草, 殺草・抑草効果] 雑草生育期; 5月上旬 (1回散布), 5月上旬および6月上旬 (2回散布); 500, 1000 g; 茎葉兼土壌処理.	継続 実	・[寒地 (北海道)]; 洋芝; スズメノカタビラ] 雑草生育期, 1～2回, 500～1000 g/a, 全面 (茎葉・土壌) 処理.
7. ioxynil フロアブル (アクトノール) [塩野義製薬]	アイオキシニル ……6	大月, 程ヶ谷, 相模原, 豊田, 岐阜, 美濃, 中国G研, 西日本G研 (3か所). (10)	適用性 [日本芝 (コウライシバ), ヒメクグ・ハマスケおよび一年生広葉雑草, 効果・薬害] 雑草生育期 (一年生広葉雑草6葉期まで); 80, 100, 120 ml <15 l>; 全面茎葉処理.	新規 継	・試験年次不足.
8. napropamid ・simazine 細粒 (ローンベスト) [日本農薬]	ナプロバミド ……1.2 CAT……0.8	鬼怒川, 東京農試, 平塚富士見, 南山, 鳥取野菜試, 西日本G研. (6)	適用性 [コウライシバ, 一年生雑草全般, 新剤型での効果・薬害] 雑草発生前; 1000, 1500, 2000 g; 土壌処理.	継続 実・ 継	実: [コウライシバ, 一年生雑草] 雑草発生前, 1000～2000 g/a, 土壌処理.
9. NY-843 水和 [日本農薬, 八洲化学]	ピリデート ……25 既知化合物 (未公開) ……20	湯本, 程ヶ谷, 東名古屋, 西日本G研. (4)	適用性 [日本芝, 一年生雑草全般, 効果・薬害] 雑草発生前～生育初期 (イネ科雑草2葉期まで); 30, 40, 50 g <20 l>; 茎葉兼土壌処理.	新規 継	・成分未公開. 試験年次不足 (処理時期, 薬量と効果, 薬害).
10. prodiamine 水和 (プロジアミン65) [ベルシコール]	プロジアミン ……65	程ヶ谷, 西日本G研. (2)	基礎 [日本芝, 一年生雑草全般, 薬量・残効期間] 雑草発生前; 8, 16, 32 g <30 l>; 土壌処理.	新規 (継)	・適用性試験へ.

薬剤名・剤型 (商品名) (委託者名)	有効成分および 含有量(%)	試験実施 場所(数)	試験の種類〔対象芝, 対象雑草, ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
11. prodiamine 水和 (プロジアミン65)	プロジアミン ………65	日本緑営, 植 調, 東名根羽, 鳥取野菜試, 中国G研. (5)	適用性〔日本芝, 一年生雑草全般, 効果・薬害〕 雑草発生前; 8, 16, 32 g<30 l> ; 土壌処理.	新規 継	・試験年次不足.(処理時 期, 薬量と効果, 薬害)
12. R P J - 8 3 2 フロアブル (モーダウン) [ロースプーラン]	ビフェノックス ………40	大月, 伊良湖 シーサイド, 中国G研. (3)	適用性〔日本芝, 一年生雑草全般 およびハマスゲ・ヒメクグ等カ ヤツリグサ科雑草, 効果・薬害〕 雑草発生前; 50, 75, 100ml <25 l>; 土壌処理.	継続 継	・薬量と効果.
13. S B - 5 0 2 水和 [エスディーエス]	成分未公開(新 規化合物) …50	植調. (1)	基礎〔日本芝, ハマスゲ(および 一年生イネ科雑草), 効果・薬害〕 雑草発生前; 75, 100, 150 g <25 l>; 土壌処理.	新規 継	・薬量・草種と効果.
14. 同 上	同 上	湯本, (相模原), 藤岡, 伊良湖 シーサイド, 東名古屋, 中 国G研. (6)	適用性〔日本芝, 一年生イネ科雑 草およびハマスゲ・ヒメクグ等 カヤツリグサ科雑草, 効果・薬 害〕 雑草発生前; 50, 75, 100ml <25 l>; 土壌処理.	新規 継	・成分未公開, 試験年次不 足(薬量と効果, 薬害).
15. S D - 1 1 8 3 1 微粒 (プラナビアン) [シェル化学]	ニトラリン ………2.5	大月, 程ヶ谷, 西日本G研. (3)	適用性〔日本芝, 一年生雑草全般, 効果・薬害〕 雑草発生前; 500, 1000, 1500 g ; 土壌処理.	新規 実・ 継	実: 〔日本芝: 一年生イネ 科雑草〕 雑草発生前, 1000~1500 g/a, 土壌処理. 継: 薬量と効果, 散布方法 等.
16. S D H - 8 4 Q フロアブル [エスディーエス]	成分未公開(既 知化合物) …52	鬼怒川, 日本 緑営, (相模原), 藤岡, 鳥取野 菜試, 西日本 G研. (6)	適用性〔日本芝, 一年生雑草全般, 効果・薬害〕 雑草発生前; 150, 200, 250ml <30 l>; 土壌処理.	新規 継	・成分未公開, 試験年次不 足(処理時期, 薬量と効 果, 薬害).
17. T A W - 2 5 水和 [トモノ農業]	成分未公開(既 知化合物, 3種 混合剤) …50	湯本, 植調, 程ヶ谷, 浜松, 中国G研, 西 日本G研. (6)	適用性〔日本芝, 一年生雑草およ び多年生広葉雑草, 効果・薬害〕 雑草生育期; 40, 50, 60g<20 l> ; 茎葉処理(処理1~2週間後 刈込).	新規 継	・成分未公開, 試験年次不 足(処理時期, 薬量と効 果, 薬害).
18. Y H - 4 7 3 水和 [八洲化学]	ビフェノックス ………60 既知化合物…15	湯本, 鬼怒川, 程ヶ谷, 東名 根羽, 関西G 研, 西日本G 研. (6)	適用性〔日本芝, 一年生雑草全般, 効果・薬害〕 雑草発生前~始期; 30, 40, 50 g <25 l>; 茎葉兼土壌処理.	新規 継	・成分未公開, 試験年次不 足(処理時期, 薬量と効 果, 薬害)

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および 含有量 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類〔対象芝、対象雑草、 ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) ＜水量/a＞; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
19. YH-474 水和	ビフェノックス ……………60 既知化合物…15	湯本, 鬼怒川, 程ヶ谷, 東名 根羽, 関西G 研, 西日本G 研. (6)	適用性〔日本芝, 一年生雑草全般, 効果・薬害〕 雑草発生前～始期; 30, 40, 50 g ＜25 l＞; 茎葉兼土壌処理.	新規 継	・成分未公開, 試験年次不 足.

B 生育調節剤

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および 含有量 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類〔対象芝、対象雑草、 ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) ＜水量/a＞; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. AR-1 水溶 〔トモエ化学〕	成分未公開	西日本G研. (1)	基礎〔芝草, 発根・生育促進〕 芝萌芽期～生育終期(月2回処 理); 50, 100, 200 g <100 l>; 全面散布.	新規 継	・薬量, 処理回数と効果に ついて.
2. 同 上	同 上	湯本, 程ヶ谷, 相模原, 豊田, 中国G研. (5)	適用性〔コウライシバ, 発根・生 育促進〕 芝萌芽期～生育終期(月2回処 理); 50, 100, 200 g <100 l>; 全面散布.	新規 継	・成分未公開, 試験年次不 足(薬量, 処理回数と効 果).
3. AU-29 液 (アミノアップ) 〔アミノアップ化学〕	ゼアチン ……500 ppm	北農試, 札幌 クラーク. (2)	作用性〔芝草, 発根・初期生育促 進〕 播種時, 播種45日後; 50 ml; 種子散布, 茎葉処理.	継続 (継)	・適用性試験の実施.
4. CE-781 液 (スペースエージ) 〔クロレラ〕	クロレラエキス	中国G研. (1)	適用性〔芝草, しずみ症予防効果 確認〕 処理量100ml等.	継続 実・ 継	実: 〔コウライシバ; しず み症予防〕 萌芽期およびしずみ症発 現期の2回, 100ml/100 l/a, 茎葉処理. 継: 処理時期, 回数.
5. EZ-85 液 〔隅部商事〕	成分未公開	西日本G研. (1)	基礎〔ペントグラス, 発根・生育 促進等〕	新規 (継)	・適用性試験の実施.
6. HOK-835 水和 〔北興化学〕	成分未公開…50	植調, 西日本 G研. (2)	基礎〔日本芝, 生育抑制による刈 込軽減〕 生育期刈込前; 20, 40, 80 g; 茎 葉処理.	新規 継	・処理時期, 薬量.
7. HSC-830 液 〔日本ヒドラジン, 北海三共〕	マレイン酸ヒド ラジドコリン塩 ……………49	北農試, 札幌 国際, 札幌エ ルム. (3)	適用性〔寒地型洋芝, 生育・出穂 抑制〕 生育期出穂前; 50, 100ml(ゴルフ 場, 公園等), 150, 200ml(道 路のり面等) <10 l>; 全面茎 葉処理.	継続 実・ 継	実: 〔寒地(北海道); 洋 芝; 生育・出穂抑制〕 生育期出穂前, 50～100 ml/10 l/a, 全面茎葉 処理. 継: 処理時期, 薬量.

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および 含有量(%)	試験実施 場所(数)	試験の種類〔対象芝、対象雑草、 ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	継続 の別 今回 判定	判定理由または内容
8. IBA 液 (オキシベロン) 〔塩野義製薬〕	インドール酪酸 …… 0.4	千葉農試, 美濃, 関西G研, 西日本G研. (4)	適用性(基礎)〔コウライシバ, 発根促進(高濃度処理の発根お よび根の生育におよぼす影響)〕 未発根直立茎または, ほふく茎 植付後; 100, 1000, 10000ml <20l>; ポット; 全面散布.	継続 実・ 継	実: 〔コウライシバ; 発根 促進〕 植付直後~生育期, 100 ml/20l/a (200倍液), 茎葉処理<展着剤加用>. 継: 薬量, 回数(処理時期).
9. MOZ-841 粉 〔モザイコン産業〕	アミノイミノオリ ゴマー(サイ トカイニン様物 質)…… 0.1	那須ナーセリ, 程ヶ谷, 西日 本G研. (3)	適用性〔コウライシバ, 発根・生 育促進〕 春期目土施用前; 5, 10 g/m ² (1回処理), 3 g/m ² (2~3 回処理); 土壌(目土用土)混 和処理.	新規 継	・試験年次不足(薬量, 回 数について).
10. NS-80 水溶 (レンテミン) 〔野田食菌〕	ゼアチン等のサイ トカイニン類 および多糖タン パク(シイタケ 菌糸体抽出物)	千葉大学. (1)	作用性〔芝草, 発根・生育促進〕	継続 (継)	・適用性試験の実施.
11. 同 上	同 上	湯本, 日本緑 営, 程ヶ谷, 伊良湖シーサ イド. (4)	適用性〔ベントグラス, 発根・生 育促進〕 芝張時; 100, 500, 1000 ppm<10 l>; 全面茎葉処理.	継続 継	・濃度(薬量, 水量), 回 数.
12. PP-333 フロアブル 〔アイシーアイ〕 PP-333 粒 PR-23 フロアブル 〔アイシーアイ〕	バクロブトラゾ ール…… 25 バクロブトラゾ ール…… 2.5 バクロブトラゾ ール…… 18.7 メフルイジド …… 2.5	北農試, 宇都 宮大学. (2)	基礎〔芝草, 生育抑制による刈込 軽減効果および薬害の各製剤の 比較〕 ・PP-333(フ)… 20, 40, 80 ml<30l> ・PP-333(粒)… 200, 400, 800 g ・PR-23(フ)… 20, 40, 80 ml<30l> 全面散布.	継続 継	・日本芝での処理時期別検 討.
13. PP-333 フロアブル	バクロブトラゾ ール…… 25	札幌国際, 札 幌エルム, 那 須ナーセリ, 那須. (4)	適用性〔寒地型洋芝, 生育抑制に よる刈込軽減(処理時期の検討)〕 生育期刈込 7 日前, 刈込直後, 刈込 7 日後; 40ml<30l>; 全 面散布.	継続 実・ 継	実: 〔寒地型洋芝; 生育抑 制・刈込み省力〕 刈込み 7 日前~刈込直後, 40ml/30l/a, 全面(茎 葉・土壌)処理. 継: 薬量, 処理時期.
14. PP-333 粒	バクロブトラゾ ール…… 2.5	札幌国際, 札 幌エルム, 竜 ヶ崎, 須ナ ーセリ, 那須, 日本緑営.	適用性〔寒地型洋芝, 生育抑制に よる刈込軽減〕 生育期刈込 7 日前, 刈込直後; 400, 800 g; 全面散布.	新規 実・ 継	実: 〔寒地型洋芝; 生育抑 制・刈込み省力〕 刈込み 7 日前~刈込み直 後, 400 g/a, 全面(茎 葉・土壌)処理.

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および 含有量(%)	試験実施 場所(数)	試験の種類〔対象芝、対象雑草、 ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
14. PP-333粒 (つづき)		(6)			継: 薬量, 処理時期.
15. PR-23 フロアブル	バクロブトラゾ ール……18.7 メフルイジド ……2.5	札幌国際, 札 幌エルム, 那 須ナーセリ, 那須, 日本緑 営. (5)	適用性〔寒地型洋芝, 生育抑制に よる刈込軽減および出穂抑制〕 生育期刈込7日前, 刈込直後; 20, 40, 80ml <30l>; 全面散布.	新規 継	・試験年次不足(処理時期, 薬量と効果, 薬害).
16. RO-54 〔理研グリーン〕	有機物質……18 有機酸……12 その他……70 (アシドフィル ス乳酸菌…… 1.0×10 ⁸ /ml)	西日本G研. (1)	作用性〔芝草, 萌芽・発根促進〕 萌芽期より1週間毎(2, 4回散 布等); 20, 50ml <100l>; 全 面散布.	新規 継	・処理時期, 回数, 薬量.
RO-55 <自主試験>	I B P……48.0	西日本G研. (1)			
RO-58 <自主試験>	ポリプロピレン グリコールノリ ルフェニルエス ジレート	西日本G研. (1)			
17. S-040 水和 〔住友化学〕	ウニコナゾール (ISO申請中) ……10 2, 4 P A……10	千葉農試, 鳥 取野菜試, 西 日本G研. (3)	適用性〔日本芝, 生育抑制(矮化) による刈込軽減〕 生育期(6月上～中旬の梅雨期) 刈込直後; 25, 50, 100g <30l> ; 全面散布.	継続 継	・処理時期, 薬量と効果, 薬害.
18. 同 上	同 上	札幌国際, 那 須. (2)	適用性〔寒地型洋芝, 生育抑制 (矮化)による刈込軽減効果およ び薬害の検討〕 生育初期～生育期刈込直後; 25, 50, 100g <30l>; 全面散布.	新規 継	・薬量と効果, 薬害.
19. TG-851 液 〔大洋漁業〕 TG-852 粒	魚類液肥 N, P, K…… 1.6, 0.4, 0.1 魚類吸着鉍さい N, P, K…… 0.6, 0.1, 0.1	程ヶ谷. (1)	作用性〔日本芝, 生育促進等肥料 効果(適正施用量の判定)〕 ・TG-851液…100, 200, 300(ま たは400)倍液 ・TG-852粒…250, 500, 750(ま たは1000)g/m; 全面処理(薬面散布および土壌 表面処理).	新規 継	・処理時期, (薬)量, 回数.
20. TPS 液 (樹勢) 〔東商トップス〕	クロレラ抽出物	大月, 浜松, 中国G研, 西 日本G研. (4)	適用性〔コウライシバ, 発根・生 育促進〕 生育初期～盛期2週間毎に散布 ; 50ml(1000倍液)<50l>; 全	継続 継	・処理量, 回数.

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および 含有量(%)	試験実施 場数(%)	試験の種類〔対象芝, 対象雑草, ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等.	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
20. T P S 液 (つづき) 〔東商トップス〕			面散布.		
T S H-888 フロアブル <自主試験> 〔東洋曹達〕	未公開	西日本G研. (1)			

昭和60年度桑園関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和60年度桑園関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、昭和60年12月6日(金)に、植調会館会議室において開催された。

この検討会には、試験場関係者31名、委託関係者等39名、計70名の参集を得て、除草剤11薬

剤(53点)、生育調節剤1薬剤(1点)について、試験成績の報告後に、慎重な検討が行なわれた。

その判定結果は、次に掲載する判定表のとおりである。

昭和60年度 桑園関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名等〕 〔委託者名〕	有効成分および 含有量(%)	試験実施 場所(%)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草等〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
(1) ANK-553 細粒 (ゴーゴーサン) 〔ゴーゴーサン普〕	ペンディメタリ ン……………2	福島, 山梨, 三重農技, 徳 島, 熊本. (5)	適用性〔効果・薬害の検討, キク 科・ツユクサを除く畑地一年生 雑草〕 春期および夏期, 雑草発生前; 500, 600 g; 土壌処理.	継続 実	・〔キク科・ツユクサ科を 除く一年生雑草〕 春夏期, 雑草発生前, 500~600 g/a, 土壌処 理.
(2) glyphosate 液 (ラウンドアップ) 〔低薬量, 低水量〕 〔モンサント〕	グリホサート ……………41	蚕糸, 福島, 群馬, 島根農 試, 鹿児島. (5)	適用性〔低薬量低水量による効果 ・薬害の検討, イネ科を主体と した畑地一年生雑草〕 夏切り後, 雑草生育期; 10, 15, 20 ml < 1, 2.5 l >; 茎葉処理.	(新規) 継	・薬量・水量と効果および 散布方法.

薬剤名・剤型 (商品名) [旧試験名等] [委託者名]	有効成分および 含有量 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類 [ねらい, 対象雑草等] 処理時期; 散布薬量 (製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
(3) Hoe-866 液 (バスタ) [バスタ協]	グルホシネート ……18.5	岩手, 茨城, 長野南信, 山 梨, 岐阜, 愛 媛, 高知. (7)	適用性 [実用化] [効果・被害, 畑地一年生雑草] 春期および夏期, 雑草生育期 (草丈15~30cm時); 30, 50 ml; 茎葉処理.	継続 実 ・ 継	・ [一年生雑草全般] 春夏期, 桑発芽前, 雑草 生育期 (草丈30cm以下 時), 30~50ml/a, 茎 葉処理.
(4) Hoe-866① 液 (バスタ) [ベキスト]	グルホシネート ……120g/l	宮城, 長野南 信, 徳島, 大 分農技. (4)	適用性 [効果・被害, 畑地一年生 雑草] 春期および夏期, 雑草生育期 (草丈15~30cm時); 40, 60, 80ml; 茎葉処理.	新規 実 ・ 継	実: [一年生雑草全般] 春夏期, 桑発芽前, 雑草 生育期 (草丈15~30cm 時), 60~80ml/a, 茎 葉処理. 継: 薬量と効果.
(5) HOK-15 水和 (ホクバック) [北興化学]	DBN……30 DCMU……10	宮城, 埼玉, 新潟, 鳥取, 宮崎総農. (5)	適用性 [効果・被害, 畑地一年生 雑草] 春期および夏期, 雑草発生前~ 始期; 20, 30, 50g; 土壌処理.	新規 実 ・ 継	実: [一年生雑草全般] 春夏期, 雑草発生前~始 期, 30~50g/a, 土壌処 理. 継: 薬量と草種.
(6) HOK-15① 細粒 (ホクバック) [北興化学]	DBN……1 DCMU……0.5	宮城, 茨城, 新潟, 鳥取, 宮崎総農. (5)	適用性 [効果・被害, 畑地一年生 雑草] 春期および夏期, 雑草発生前~ 始期; 500, 600, 700g; 土壌処 理.	新規 実 ・ 継	実: [一年生雑草全般] 春夏期, 雑草発生前, 600~700g/a, 土壌処 理. 継: 処理時期, 薬量と効果.
(7) KH-212 粒 (カッター) <S. 59 秋冬> [カネショウ]	KH-212粒3-2, DBN……3 DCMU……2 KH-212粒4-2, DBN……4 DCMU……2 KH-212粒4-3, DBN……4 DCMU……3	茨城, 新潟, 兵庫, 宮崎総 農. (4)	適用性 [効果・被害, 一年生雑草 およびヨモギ・タンポポ・ヤブ ガラシ・ギンギン等多年生雑草] 秋冬期 (積雪前まで), 雑草発 生前~始期; 600g; 土壌処理.	継続 実 ・ 継	実: [ヨモギ・タンポポ・ ヤブガラシ・ギンギン等 多年生広葉雑草および一 年生雑草] 秋冬期 (積雪前まで), 雑 草発生前~始期, 600g/ a, 土壌処理. 継: 薬量 (混合比を含む), 被害 (生育抑制).
(8) MW-831 水溶 [明治製菓]	ピアラホス…20	岩手, 埼玉, 三重農技, 鳥 根農試, 熊本. (5)	適用性 [効果・被害, 畑地一年生 雑草] 春期および夏期, 雑草生育期; 30, 50, 75g; 茎葉処理.	継続 実 ・ 継	実: [一年生雑草全般] 春夏期, 桑発芽前, 雑草 生育期, 50~75g/a, 茎 葉処理. 継: 薬量.
(9) MW-DC 水和 [明治製菓]	ピアラホス…12 DCMU……18	山形, 埼玉, 兵庫, 愛媛, 鹿児島. (5)	適用性 [効果・被害, 畑地一年生 雑草] 春期および夏期, 雑草生育期; 50, 75g; 茎葉・土壌処理.	継続 実	・ [一年生雑草全般] 春夏期, 桑発芽前, 雑草 生育期 (草丈30cm以下 時), 50~75g/a, 茎葉 (・土壌) 処理.
(10) SKP-3 乳 [三洋貿易]	成分未公開…12	蚕糸, 岩手, 熊本. (3)	適用性 [効果・被害, 畑地一年生 雑草] 春期および夏期, 雑草生育期;	新規 継	・ 試験年次不足, 成分未公 開.

薬剤名・剤型 (商品名) [旧試験名等] [委託者名]	有効成分および 含有量 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類 [ねらい, 対象雑草等] 処理時期; 散布薬量 (製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
10) SKP-3 乳 (つづき) [三洋貿易]			15, 30, 50ml; 茎葉処理.		
11) SSH-55 乳 (コワーク) [塩野義製薬]	トリフルラリン14 プロメトリン 6	山形, 群馬, 岐阜, 兵庫, 大分農技. (5)	適用性 [効果・被害, 畑地一年生 雑草] 春期および夏期, 雑草発生前; 80, 90, 100ml; 土壌処理.	継続 実・ 継	実: [一年生雑草全般] 春夏期, 桑発芽前, 雑草 発生前, 80~90ml/a, 土壌処理. 継: 薬量.

B 生育調節剤

薬剤名・剤型 (商品名) [旧試験名等] [委託者名]	有効成分および 含有量 (%)	試験実施 場所 (数)	試験の種類 [ねらい, 対象雑草等] 処理時期; 散布薬量 (製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
(1) benzyldene- nine 液 (ヘルボス) [BA] [興人]	ベンジルアデニ ン..... 1.7	蚕試. (1)	基礎 [新梢さし木における発芽促 進等の効果]	継続 継	・効果不明確.

昭和60年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和60年度野菜花き関係除草剤・生育調節剤
試験成績検討会は, 昭和60年12月12~13日, 虎
ノ門パストラル (東京都港区虎ノ門4-1-1)
において開催された。

この検討会には, 試験場関係者95名, 委託関
係者等97名, 計192名が参集し, 23作物に対す

る除草剤80試験321点, 15作物に対する生育調
節剤26試験68点, 前回未検討除草剤9試験21点,
生育調節剤3試験3点について, 試験成績の報
告後, 慎重な検討が行なわれた。

その判定結果については, 次表に示すとおり
である。

昭和60年度 春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

I 除 草 剤

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 〔商品名〕 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施場所(=実施中(数))	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/a)等; 処理方法	新継の別 今回判定	判定理由または内容
1. キャベツ 〔春～夏まき露地移植〕	(1) ANK-553 細粒 (ゴーゴーサン) 〔ゴーゴーサン普〕	ペンディメタリン……………2	青森畑作, 長野中信, 岐阜, 兵庫, 福岡園研. (5)	適用性〔効果・薬害, キク科・ツユクサを除く畑地一年生雑草〕 定植前, 雑草発生前; 500, 600 g; 全面土壌処理.	新規 実・継	実: 〔春～夏まき露地移植; キク科・ツユクサ科を除く一年生雑草〕 定植前, 雑草発生前; 500 g; 全面土壌処理. 継: 薬量, 処理時期, 薬害.
〔春～夏まき露地移植〕	(2) Hoe-171 ① 乳 〔ヘキスト・三共〕	フェノキサプロップエチル ……90 g/l	北海道中央, 同道南. (2)	適用性〔体系処理における効果・薬害, スズメノカタビラを除く畑地一年生イネ科雑草〕 慣行前(土壌)処理剤施用後, 生育期, 一年生イネ科雑草3～5葉期; 7.5, 10, 15 ml; 全面茎葉処理.	継続 実	・〔春～夏まき露地移植; スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 慣行土壌処理剤施用後, 生育期, 一年生イネ科雑草3～5葉期, 7.5～15ml, 全面茎葉処理.
〔春～夏まき露地移植〕	(3) 同 上	同 上	岩手南部, 群馬, 新潟, 京都, 兵庫, 熊本阿蘇. (6)	適用性〔効果・薬害, スズメノカタビラを除く畑地一年生イネ科雑草〕 ①体系処理…慣行前(土壌)処理剤施用後, 生育期, 一年生イネ科雑草3～5葉期; 10, 15ml; 全面茎葉処理. ②単用処理…生育期, 一年生イネ科雑草3～5葉期; 15 ml; 全面茎葉処理.	継続 実・継	実: 〔春～夏まき露地移植; スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 ①体系; 慣行土壌処理剤施用後, 生育期, 雑草3～5葉期, 10～15ml, 全面茎葉処理. ②単用; 生育期, 雑草3～5葉期, 15ml, 全面茎葉処理. 継: 薬量.
〔春～夏まき露地移植〕	(4) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協〕	グルホシネート……………18.5	秋田, 群馬, 新潟, 岐阜, 福岡園研. (5)	適用性〔効果および薬害, 畑地一年生雑草全般〕 ①定植前, 雑草生育初期; 75 ml; 全面茎葉処理. ②生育期, 雑草生育(初)期; 20, 30, 50ml; うね間株間茎葉処理.	継続 実・継	実: 〔春～夏まき露地移植; 一年生雑草全般〕 ①定植前, 雑草生育(初)期, 75ml, 全面茎葉処理. ②生育期, 雑草生育(初)期, 30～50ml, うね間茎葉処理. 継: 薬量(処理時期).
〔春～夏まき露地移植〕	(5) MW-831 水溶 〔明治製菓〕	ピアラホス ……………20	福島, 新潟高冷地, (三重), 広島, 熊本阿蘇. (5)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育期(発生前以降); 30, 50, 75 g; 全面茎葉処理.	新規 実・継	実: 〔春～夏まき露地移植; 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育(初)期, 30～50 g, 全面茎葉処理. 継: 処理時期, 薬量.

作物名 〔作型・ 栽培法〕	薬剤名・剤型 〔商品名〕 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分およ び含有率 (%)	試験実施 場所()＝ 実施中(敬)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/ a)等; 処理方法	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. キャベツ (つづき) 〔春～夏まき〕 〔露地移植〕	(6) NC-302 ① フロアブル 〔日産化学〕	キザロホップ エチル……10	北海道道 南, 岩手 南部, 群 馬, 長野 中信, 京 都, 広島, 鹿児島大 隅. (7)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生イネ科雑草〕 ・体系処理…慣行前(土壌)処 理剤施用後, 生育期, 一年 生イネ科雑草2～6葉期; 7.5, 10, 15m ^l /; 全面茎葉 処理. ・単用処理…生育期, 一年生 イネ科雑草2～6葉期; 10 m ^l /; 全面茎葉処理.	新規 継	・試験年次不足(処理時 期, 薬量).
2. ハクサイ 〔春～夏まき〕 〔露地移植〕	(1) ANK-553 乳 (ゴーゴーサン) 〔ゴーゴー サン普〕	ペンディメタ リン……30	北海道道 南, 群馬 高冷地, 新潟高冷 地, 愛知 園研, 兵 庫但馬. (5)	適用性〔効果・薬害, キク科・ ツユクサを除く畑地一年生雑 草〕 定植前, 雑草発生前; 20, 30, 40m ^l /; 全面土壌処理.	継続 実・ 継	実: 〔春～夏まき露地移 植; キク科・ツユクサ 科を除く一年生雑草〕 定植前, 雑草発生前; 20～30m ^l / 全面土壌処 理. 継: 処理時期, 薬量, 薬 害.
〔春～夏まき〕 〔露地移植〕	(2) CG-119・ ・P細粒 (コダール) 〔チバガイギ ー, 武田薬 品〕	メトラクロ ール……2.0 プロメトリ ン……1.0	岩手, 茨 城, 新潟, 愛知園研, 鳥取. (5)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 ・定植前, 雑草発生前; 300, 400, 500 g; 全面土壌処理. ・定植後, 雑草発生前; 300, 400, 500 g; うね間株間土 壌処理.	継続 実・ 継	実: 〔春～夏まき露地移 植; 一年生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前; 400 g, うね間(株間) 土壌処理(砂土, 砂壤 土を除く). 継: 処理時期(定植前), 薬量, 薬害(土壌との 関係).
〔春～夏まき〕 〔露地移植〕	(3) MW-831 水溶 〔明治製薬〕	ビアラホス ……20	北海道道 南, 宮城, 岐阜高冷 地, 兵庫 但馬. (4)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植前, 雑草発生前期～生育 初期; 30, 50, 75 g; 全面茎葉 処理.	継続 実・ 継	実: 〔春～夏まき露地移 植; 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育(初) 期; 30～50 g, 全面茎 葉処理. 継: 薬量, 草種.
〔春～夏まき〕 〔露地移植〕	(4) S-28U 粒 (クレマトU) 〔クレマー ト研〕	ブタミホス ……3	岩手, 群 馬高冷地, 長野中信, 愛知園研, 兵庫但馬. (5)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前; 400, 500, 600 g; 全面土壌処理.	新規 継	・試験年次不足(薬量と 効果・薬害).
〔春～夏まき〕 〔露地移植〕	(5) TM-362 ①乳 〔トーマン〕	(E, E)-2- 1-[(3-クロ ロ-2-プロペ ニル)オキシ ミノブチル]- 5-(2-エチ	北海道道 南, 宮城, 長野中信, 新潟高冷 地, 三重, 鳥取.	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 ・体系処理…慣行前(土壌) 処理剤施用後, 生育期, 一 年生イネ科雑草3～5葉期	新規 継	・試験年次不足.

作物名 〔作型・〕 栽培法	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所() = 実施中(○)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散量薬量(製品/ a)等; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
2. ハクサイ (つづき)	(5) TM-362 ①乳 (つづき)	ルチオプロピ ル)-3-ハイ ドロキシ-2- シクロヘキセン -1-オン...24	(6)	; 7.5m ² /; 全面茎葉処理. ・単用処理...生育期, 一年生 イネ科雑草 3~5葉期; 7. 5, 10m ² /; 全面茎葉処理.		
3. ホウレン ソウ 〔春~夏まき〕 〔露地直播〕	(1) MB-9057 液 (アージラン) 〔アージラン 普〕	アシュラム35	熊本園芸, 大分. (2)	適用性〔効果・薬害, アカザ科 ・ヒユ科・カヤツリグサ科を 除く畑地一年生雑草〕 は種後~出芽前, 雑草発生前 ~始期; 60, 80, 100m ² /; 全面 土壌処理.	継続 継	・処理時期, 薬量.
4. ネギ 〔春~夏まき〕 〔露地移植〕	(1) AKN-558 乳 (ゴーゴーサン) 〔ゴーゴー サン普〕	ペンディメタ リン.....30	福島いわ き, 埼玉, 愛知園研, 大分. (4)	適用性〔効果・薬害, キク科・ ツユクサを除く畑地一年生雑 草〕 定植後, 雑草発生前; 20, 30, 40m ² /; 全面土壌処理.	新規 実 ・継	実: 〔春まき露地移植; キク科・ツユクサ科を 除く一年生雑草〕 定植後, 雑草発生前, 20~30m ² /, 全面土壌 処理. 継: 処理時期, 薬量.
〔春まき露 地移植〕	(2) S-28U 粒 (クレマトU) 〔クレマト 研〕	ブタミホス3	青森, 京 都, 大分. (3)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植活着後, 雑草発生前; 400, 500, 600 g; 全面土壌処 理.	継続 実 ・継	実: 〔春まき露地移植; 一年生雑草全般〕 定植活着後, 雑草発生前, 500~600 g, 全面 土壌処理. 継: (処理時期), 薬量.
〔春~夏まき〕 〔露地移植〕	(3) trifluralin 粒 (トレファノ サイド) 〔塩野義製薬〕	トリフルラリ ン.....2.5	福島, 埼 玉, 愛知 園研, 京 都, 鳥取, 大分. (6)	適用性〔効果・薬害, キク科・ アブラナ科・カヤツリグサ科 を除く畑地一年生雑草〕 定植後, 雑草発生前; 400, 500 g; 全面土壌処理.	新規 実 ・継	実: 〔春まき露地移植; キク科・アブラナ科・ カヤツリグサ科を除く 一年生雑草〕 定植後, 雑草発生前; 400~500 g, 全面土壌 処理. 継: 薬量.
5. タマネギ 〔春まき露 地移植〕	(1) ANK-553 細粒 (ゴーゴーサン) 〔ゴーゴー サン普〕	ペンディメタ リン.....2	北海道中 央, 同北 見. (2)	適用性〔効果・薬害, キク科・ ツユクサを除く畑地一年生雑 草〕 定植後, 雑草発生前; 500, 600 g, 全面土壌処理.	継続 実	・〔春まき露地移植; キ ク科・ツユクサ科を除 く一年生雑草〕 定植後, 雑草発生前; 500~600 g; 全面土壌 処理.
〔春まき露 地移植〕	(2) CG-119 ・P水和 (コダール) 〔チバガイギ ー, 武田薬 品〕	メトラクロ ール.....30 プロメトリ ン.....20	北海道, 北海道中 央. (2)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前; 20, 30, 40 g; 全面土壌処理.	新規 継	・試験年次不足.

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(○)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/a)等; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
5. タマネギ (つづき)	(3) Hoe-171 ①乳	フェノキサプロ ップエチル ……90 g/l	北海道中 央, 同北 見. (2)	適用性〔体系処理による効果・ 薬害, スズメノカタビラを除 く畑地一年生イネ科雑草〕 定植後, 慣行前(土壌)処理剤 施用後, 一年生イネ科雑草 3 ～5 葉期; 7.5, 10, 15ml; 全面茎葉処理.	継続 実・ 継	実: 〔春まき露地移植; スズメノカタビラを除 く一年生イネ科雑草〕 慣行土壌処理剤施用後, 雑草 3～5 葉期, 7.5 ～15ml; 全面茎葉処 理. 継: 薬量.
〔春まき露 地移植〕	〔ヘキスト, 三共〕					
〔春まき露 地移植〕	(4) HOK-833 水和	MCC……40 DCMU…7	北海道, 北海道中 央, 同北 見. (3)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前～始期; 50, 75, 100 g; 全面土壌処理.	継続	実: 〔春まき露地移植; 一年生雑草全般〕 定植活着後, 雑草発生 始期; 50～75 g; 全面 土壌処理.
〔春まき露 地移植〕	(5) HOK-833 細粒	MCC……8 DCMU ……1.5	北海道, 北海道中 央, 同北 見. (3)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前～始期; 400, 500, 600 g; 全面土壌処 理.	継続 継	・ (処理時期), 薬量.
〔春まき露 地移植〕	(6) HW-920 微粒 (ダイロン)	DCMU…3	北海道中 央, 同北 見. (2)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植活着後, 雑草発盛期 (草丈10～15cmまで); 500, 750 g; 全面処理.	継続 継	・ 処理時期, 薬量.
〔春まき露 地移植〕	(7) NC-302 ① フロアブル	キザロホップ エチル……10	北海道中 央, 同北 見. (2)	適用性〔体系処理における効果 ・薬害, スズメノカタビラを 除く畑地一年生イネ科雑草〕 慣行前(土壌)処理剤施用後, 生育期, イネ科雑草 2～6 葉 期; 7.5, 10, 15ml; 全面茎 葉処理.	継続 実・ 継	実: 〔春まき露地移植; スズメノカタビラを除 く一年生イネ科雑草〕 慣行土壌処理剤施用後, 生育期; 雑草 3～5 葉 期; 7.5～15ml, 全面 茎葉処理. 継: 処理時期, 薬量.
〔春まき露 地移植〕	(8) TM-362 ①乳	〔前 掲〕 ……24	北海道. (1)	作用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草 2～3 葉 期と 5～6 葉期の 2 時期; 5, 7.5, 10ml; 全面茎葉処理.	新規 (継)	・ 適用性試験の実施.
〔春まき露 地移植〕	〔トーマン〕					
6. ニンニク	(1) NP-55 乳 (ナブ)	セトキシジム ……20	(北海道中 央, 青森, (岩手). (3)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 ・単用処理…生育期, 一年生 イネ科雑草 3～5 葉期; 15, 20ml; 全面茎葉処理. ・体系処理…慣行前(土壌)処	継続 保留	・ 試験成績の提出後判定.
〔露地普通〕	〔日本曹達〕					

作物名 〔作型・〕 栽培法	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(数)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布量(製品/ a)等; 処理方法	新緑 の別 今回 判定	判定理由または内容
6. ニンニク (つづき) 〔露地普通〕	(1) NP-55乳 (つづき) 〔日本曹達〕			理剤施用後, 生育期, 一年 生イネ科雑草 3~5 葉期; 15m ² /; 全面茎葉処理.		
7. ニラ 〔露地普通〕	(1) NP-55乳 (ナブ)	セトキシジム ……………20	千葉畑作, 東京, 京 都, 兵庫 但馬. (4)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 ①単用処理…生育期, 一年生 イネ科雑草 3~5 葉期; 15, 20m ² /; 全面茎葉処理 ②体系処理…慣行前(土壌)処 理剤施用後, 生育期, 一年 生イネ科雑草 3~5 葉期; 15m ² /; 全面茎葉処理.	継続 実	・〔露地普通; スズメノ カタビラを除く一年生 イネ科雑草〕 ①単用; 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15~20 m ² /, 全面茎葉処理. ②体系; 慣行土壌処理 剤施用後, 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15 m ² /, 全面茎葉処理.
8. アスパラ ガス(グ リーン) 〔露地・養 成畑〕	(1) B-3015・ P乳 (サターン バアロ) 〔クミアイ 化学〕	ベンチオカー ブ……………50 プロメトリン ……………5	岩手高冷 地, 福島, 群馬高冷 地, 兵庫 但馬, 広 島. (5)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 萌芽前, 雑草発生前~始期; 60, 80, 100m ² /; 全面土壌処 理.	継続 実	・〔露地普通(養成畑含 む); 一年生雑草全般〕 萌芽前, 雑草発生前~ 始期; 60~100m ² /, 全 面土壌処理(但し, 寒 地および砂土, 砂壤土 を除く).
〔露地・養 成畑〕	(2) B-3015・ P粒 (サターン バアロ) 〔クミアイ 化学〕	ベンチオカー ブ……………8 プロメトリン ……………0.8	岩手高冷 地, 福島, 群馬高冷 地, 兵庫 但馬, 広 島. (5)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 萌芽前, 雑草発生前~始期; 400, 500, 600g; 全面土壌処 理.	継続 実	・〔露地普通(養成畑含 む); 一年生雑草全般〕 萌芽前, 雑草発生前~ 始期; 400~600g, 全 面土壌処理(但し, 寒 地および砂土, 砂壤土 を除く).
〔グリーン 露地普通 (養成園 も含む)〕	(3) NP-55乳 (ナブ) 〔日本曹達〕	セトキシジム ……………20	〔養成園〕 北海道中 央, 同道 南, 広島, 〔普通畑〕 山形, 長 野, 香川 三木. (3)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生雑 草〕 ①単用処理…生育期, 一年生 イネ科雑草 3~5 葉期; 15, 20m ² /; 全面茎葉処理. ②体系処理…慣行前(土壌)処 理剤施用後, 生育期, 一年 生イネ科雑草 3~5 葉期; 15m ² /; 全面茎葉処理.	継続 実	・〔露地普通(養成畑含 む); スズメノカタビ ラを除く一年生イネ科 雑草〕 ①単用; 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15~20 m ² /; 全面茎葉処理. ②体系; 慣行土壌処理 剤施用後, 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15 m ² /; 全面茎葉処理.
〔露地普通 (養成園 も含む)〕	(4) SL-236乳 (ワンサイド) 〔石原産業〕	フルアジホッ プ……………35	山形, 長 野, 香川 三木. (3)	適用性〔体系処理における効果 ・薬害, スズメノカタビラを 除く畑地一年生イネ科雑草〕 慣行前(土壌)処理剤施用後, 生育期, イネ科雑草 3~5 葉 期; 5, 7.5, 10m ² /; 全面茎 葉処理.	新規 継	・試験年次不足(処理時 期, 薬量).

作物名 〔作型・〕 栽培法	薬剤名・剤型 〔商品名〕 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(効)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/ a)等; 処理方法	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
8. アスパラ ガス (つづき)	(5) XRD-233 液 〔XRD233 研〕	トリクロピル ……………30	植調研. (1)	作用性〔スギナのステージ別効 果, スギナ〕 40, 60ml.	新規 (継)	・適用性試験へ.
〔露地普通〕	(6) 同 上	同 上	北海道 道南, 岩手 高冷地, 長野, 長 野南信. (4)	適用性〔効果・薬害, スギナ〕 収穫・地上部刈取り後, 雑草 生育期; 40, 60ml; 全面茎葉 処理.	新規 継	・試験年次不足(処理時 期, 薬量).
9. トマト	(1) MW-831 水溶	ピアラホス ……………20	秋田, 長 野中信, 京都, 広 島. (4)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 ・定植前, 雑草発生前期～生 育初期; 30, 50, 75g; 全面 茎葉処理. ・定植後(生育期), 雑草生育 (初)期; 30, 50, 75g; うね 間茎葉処理.	継続 実・ 継	実: 〔露地移植; 一年生 雑草全般〕 定植前, 雑草生育初期 または生育期, 雑草生 育(初)期の1～2回, 30～50g, 雑草茎葉処 理(作物にかからない ように). 継: 薬量.
〔露地移植〕 普通	(2) SL-236 ①乳	フルアジホッ プーP-ブチ ル……………17.5	青森, 栃 木, 長野 中信, 京 都, 熊本 園芸. (5)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草3～5葉 期; 5, 7.5, 10ml; 全面茎葉 処理.	新規 実・ 継	実: 〔露地移植; スズメ ノカタビラを除く一年 生イネ科雑草〕 (慣行土壌処理剤施用 後)生育期, 雑草3～ 5葉期, 5～10ml, 全 面茎葉処理. 継: 処理時期, 薬量.
10. キュウリ	(1) MW-831 水溶	ピアラホス ……………20	青森, 長 野南信, 鳥取, 鹿 児島. (4)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 ・定植前, 雑草発生前期～生 育初期; 30, 50, 75g; 全面 茎葉処理. ・定植後(生育期), 雑草生育 (初)期; 30, 50, 75g; うね 間茎葉処理.	新規 実・ 継	実: 〔露地(マルチを含む) 移植; 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育初期, 全面茎葉処理, または 生育期, 雑草生育(初) 期, うね間茎葉処理, 30～50g, 1～2回処 理. 継: 薬量.
〔露地移植〕 (マルチ)	(2) SL-236 ①乳	フルアジホッ プーP-ブチ ル……………17.5	青森, 神 奈川, 岐 阜南濃, 鳥取, 鹿 児島. (4)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草3～5葉 期, 5, 7.5, 10ml; 全面茎葉 処理.	新規 実・ 継	実: 〔露地マルチ移植; スズメノカタビラを除 く一年生イネ科雑草〕 (慣行土壌処理剤施用 後), 生育期, 雑草3 ～5葉期, 5～10ml, 全面茎葉処理. 継: 処理時期, 薬量.
〔露地マル チ移植〕	〔石原産業〕					

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 〔商品名〕 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所 () = 実施中徴	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量 (製品/a) 等; 処理方法	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
10. キュウリ (つづき) 〔露地マル チ移植〕	(3) SNG-321 粒 (ネマレート) 〔3 S 研〕	D C I P …10	福島, 東京, 岐阜 南濃, 兵庫. (4)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植 2~3 週間前, 雑草発芽 前; 2000, 3000, 4000 g; 土 壌混和処理 (15~20 cm 深).	新規 継	・試験年次不足.(処理時 期, 薬量).
11. スイカ 〔春~夏作 露地マル チ移植等〕	(1) CG-119 ・P 細粒 (コダール) 〔チバガイギ ー, 武田薬 品〕	メトラクロ ール……………2 プロメトリ ン……………1	青森砂丘, 秋田, 千 葉東総, 石川砂丘 地, 鳥取. (5)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植前(マルチ前), 雑草発生 前; 300, 400, 500 g; 全面土 壌処理	継続 継	・薬害の発生要因.
〔露地トン ネルマル チまたは 露地マル チ移植等〕	(2) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協〕	グルホシネ ート……………18.5	青森砂丘, 千葉東総, 新潟, 石 川砂丘地, 鳥取. (5)	適用性〔効果・薬害, 一年生雑 草全般〕 生育期, 雑草生育期(発生前 期~生育中期) 20, 30, 50m/ ; うね間茎葉処理.	継続 実 継	実: 〔トンネル早熟また はトンネルマルチ; 一 年生雑草全般〕 生育期, 雑草生育(初) 期, 30~50m/, うね間 茎葉処理. 継: 薬量.
〔露地トン ネルマル チ移植等〕	(3) MB-9057 液 (アーザラン) 〔アーザ ラン普〕	アシュラム ……………37	北海道中 央, 同道 南. (2)	適用性〔効果・薬害, アカザ科 ・ヒユ・カヤツリグサ科を除 く一年生雑草〕 定植前(マルチ前), 雑草発生 前; 80, 100, 120m/; 全面土 壌処理.	継続 実	・〔トンネルマルチ移植 ; アカザ科・ヒユ科・ カヤツリグサ科を除く 一年生雑草〕 定植前, マルチ前, 雑 草発生前, 80~120m/, 全面土壌処理.
〔露地マル チ移植〕	(4) MW-831 水溶 〔明治製薬〕	ピアラホス ……………20	青森砂丘, 新潟, 石 川砂丘地, 香川三木. (4)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植後, 雑草生育(初)期; 30, 50, 75 g; うね間雑草茎葉処 理.	継続 実	・〔露地マルチ~トンネ ルマルチ移植; 一年生 雑草全般〕 定植後, 雑草生育(初) 期; 30~50 g, うね間 茎葉処理.
〔露地マル チ移植〕	(5) NP-55 乳 (ナブ) 〔日本曹達〕	セトキシジ ム……………20	北海道道 南. (1)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 ①単用処理…生育期, 一年生 イネ科雑草 3~5 葉期; 15, 20m/; 全面茎葉処理. ②体系処理…慣行前(土壌)処 理剤施用後, 生育期, 一年 生イネ科雑草 3~5 葉期; 15m/; 全面茎葉処理.	継続 実	・〔露地マルチ~トンネ ルマルチ移植; スズメ ノカタビラを除く一年 生イネ科雑草〕 ①単用: 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15~20 m/, 全面茎葉処理. ②体系: 慣行土壌処理 剤施用後, 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15 m/, 全面茎葉処理.
	(6) SL-236 乳	フルアジホ ップ……………35	青森, 秋 田, 千葉	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ	新規 実・継	実: 〔露地マルチ~トン ネルマルチ移植; スズ

作物名 (作型・栽培法)	薬剤名・剤型 (商品名) (旧試験名) (委託者名)	有効成分および含有率 (%)	試験実施場所()= 実施中効	試験の種類〔わらい, 対象雑草〕 処理時期: 散布薬量 (製品/a) 等; 処理方法	新続 の別 今回 判定	判定理由または内容
11. スイカ (つづき) 〔露地マル〕 チ移植	(6) SL-236 乳 (ワンサイド) (つづき) 〔石原産業〕		東総, 新潟, 石川 砂丘地, 鳥取. (6)	ネ科雑草〕 生育期, 一年生イネ科雑草 3 ~5 葉期; 5, 7.5, 10m ² /; 全 面茎葉処理.		メノカタビラを除く一 年生イネ科雑草〕 (慣行土壌処理剤施用 後)生育期, 5~10m ² /, 全面茎葉処理. 続: 処理時期, 薬量.
12. メロン 〔露地トン〕 ネルマル チ移植	(1) MB-9057 液 (アージラン) 〔アージラ ン普〕	アシユラム37	北海道中 央, 同道 南. (2)	適用性〔効果・薬害, アカザ科 ・ヒユ・カヤツリグサ科を除 く一年生雑草〕 定植前マルチ前, 雑草発生前 ~始期; 80, 100, 120m ² /; 全 面土壌処理.	継続 続	・(寒地での)試験年次 不足.
13. カボチャ 〔露地普通〕	(1) S-28 乳 (クレマート) 〔クレマー ト研〕	ブタミホス50	北海道道 南, 山形 砂丘地, (宮崎). (3)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 定植前, 雑草発生前; 30, 40, 50m ² /; 全面土壌処理.	新規 続	・試験年次, 例数不足.
14. イチゴ 〔親株床・ 露地〕	(1) Hoe-171 ①乳 〔ヘキスト, 三共〕	フェノキサプ ロップエチル90 g/l	北海道道 南. (1)	適用性〔体系処理における効果 ・薬害, スズメノカタビラを 除く畑地一年生イネ科雑草〕 移植後慣行土壌処理剤施用後, 生育期, 一年生イネ科雑草 3 ~5 葉期; 7.5, 10, 15m ² / (一 部単用); 全面茎葉処理.	継続 実・ 続	・〔寒地; 親株床・露地 普通; スズメノカタビ ラを除く一年生イネ科 雑草〕 慣行土壌処理剤施用後, 生育期, 雑草 3~5 葉 期, 10~15m ² /, 全面 茎葉処理. 続: 薬量.
〔親株床・ 露地〕	(2) 同 上	同 上	山形, 埼 玉, 兵庫, 福岡園研. (4)	適用性〔体系処理における効果 ・薬害, スズメノカタビラを 除く畑地一年生イネ科雑草〕 移植後慣行土壌処理剤施用後, 生育期, 一年生イネ科雑草 3 ~5 葉期; 10, 15m ² / (一部単 用); 全面茎葉処理.	継続 実・ 続	実: 〔親株床・露地普通 ; スズメノカタビラを 除く一年生イネ科雑草〕 ①体系; 慣行土壌処理 剤施用後, 生育期, 雑草 3~5 葉期, 10 ~15m ² /, 全面茎葉処 理. ②単用; 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15m ² /, 全面茎葉処理. 続: 薬量.
〔親株床・ 露地〕	(3) SL-236 乳 (ワンサイド) 〔石原産業〕	フルアジホッ プ.....35	福岡園研. (1)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 生育期, 一年生イネ科雑草 3 ~5 葉期; 5, 7.5, 10m ² /; 全 面茎葉処理.	継続 実・ 続	実: 〔親株床; 露地普通 ; スズメノカタビラを 除く一年生イネ科雑草〕 慣行土壌処理剤施用後, 生育期, 雑草 3~5 葉 期, 7.5~10m ² /, 全面 茎葉処理.

作物名 〔作型・ 栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分およ び含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中()	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布量(製品/ a)等; 処理時期	新緑 の別 今回 判定	判定理由または内容
14. イチゴ (つづき) 〔親株床・ 露地〕	(3) SL-236 乳 (つづき) 〔石原産業〕					継: 薬量.
15. サヤイン ゲン 〔春まき露 地直播等〕	(1) triflu- ralin 乳 (トレファノ サイド) 〔塩野義製薬, 武田薬品〕	トリフルラリ ン……………44.5	千葉, 和 歌山. (2)	適用性〔効果・薬害, キク科・ アブラナ科・カヤツリグサ科 を除く畑地一年生雑草〕 は種前(マルチ前), 雑草発生 前; 20, 25, 30m ² ; 全面土壌 処理.	新規 実 ・ 継	実: 〔春まき露地マルチ 直はん; キク科・アブ ラナ科・カヤツリグサ 科を除く一年生雑草〕 は種前マルチ前, 雑草 発生前, 20~30m ² , 全 面土壌処理. 継: 処理時期, 薬量, 薬 害.
〔春まき露 地直播等〕	(2) 同 上	同 上	茨城, 神 奈川, 岡 山, 鹿児 島. (4)	適用性〔効果・薬害, キク科・ アブラナ科・カヤツリグサ科 を除く畑地一年生雑草〕 は種後, 雑草発生前; 20, 25, 30m ² ; 全面土壌処理.	新規 実 ・ 継	実: 〔春まき露地直はん ; キク科・アブラナ科 ・カヤツリグサ科を除 く一年生雑草〕 は種後, 雑草発生前, 20~30m ² , 全面土壌処 理. 継: 処理時期, 薬量.
〔春まき露 地直播等〕	(3) triflu- ralin 粒 (トレファノ サイド) 〔塩野義〕	トリフルラリ ン……………2.5	千葉暖地, 和歌山. (2)	適用性〔効果・薬害, キク科・ アブラナ科・カヤツリグサ科 を除く畑地一年生雑草〕 は種前(マルチ前), 雑草発生 前; 400, 500, 600g; 全面土 壌処理.	新規 実 ・ 継	実: 〔春まき露地マルチ 直はん; キク科・アブ ラナ科・カヤツリグサ 科を除く一年生雑草〕 は種前マルチ前, 雑草 発生前, 500~600g, 全面土壌処理. 継: 処理時期, 薬量, 薬 害.
〔春まき露 地直播等〕	(4) 同 上	同 上	宮城, 茨 城, 神奈 川, 岡山, 鹿児島. (5)	適用性〔効果・薬害, キク科・ アブラナ科・カヤツリグサ科 を除く畑地一年生雑草〕 は種後, 雑草発生前; 400, 500, 600g; 全面土壌処理.	新規 実 ・ 継	実: 〔春まき露地直はん ; キク科・アブラナ科 ・カヤツリグサ科を除 く一年生雑草〕 は種後, 雑草発生前, 500~600g, 全面土壌 処理. 継: 処理時期, 薬量.
16. ダイコン 〔春(～夏)ま き露地直播〕	(1) SL-236/ 乳 (ワンサイド) 〔石原産業〕	フルアジホッ プ……………35	長崎. (1)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 生育期, 一年生イネ科雑草 3 ～5葉期; 5, 7.5, 10m ² ; 全 面茎葉処理.	継続 実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地直 はん; スズメノカタビ ラを除く一年生イネ科 雑草〕 慣行土壌処理剤施用後, 生育期, 雑草 3～5葉 期, (5～10m ²), 全

作物名 〔作型・〕 栽培法	薬剤名・剤型 〔商品名〕 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(%)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量 (製品/ a) 等; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
16. ダイコン (つづき) 〔春(～夏)ま き露地直播〕	(1) SL-236 乳 (つづき) 〔石原産業〕					面茎葉処理。 継: 薬量。
17. ニンジシ 〔春～夏まき 露地直播〕	(1) CG-119 乳 (デュアル) 〔チバガイギ ー, 武田薬 品〕	メトラクロ ール……………50	北海道道 南. (1)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草〕 は種後, 出芽前, 雑草発生前 ; 10, 20, 30ml; 全面土壌処 理。	継続 継	・(寒地) 処理時期, 薬 量。
〔春～夏まき 露地直播〕	(2) CG-119 ・P 細粒 (コダール) 〔チバガイギ ー 武田薬 品〕	メトラクロ ール……………2 プロメトリ ン……………1	北海道道 南. (1)	適用性〔効果・薬害, 一年生雑 草全般〕 は種後, 出芽前, 雑草発生前 ; 300, 400, 500 g; 全面土壌 処理。	継続 継	・(寒地) 処理時期, 薬 量。
〔春～夏まき 露地直播〕	(3) Hoe-171 ①乳 〔ヘキスト, 三共〕	フェノキサ ロップエチ ル……………90 g/l	北海道中 央, 同道 南, 青森 畑作, 福 島, 千葉 畑作, 岐 阜, 長崎. (7)	適用性〔体系処理による効果・ 薬害, スズメノカタビラを除 く畑地一年生イネ科雑草〕 慣行前(土壌)処理剤施用後, 生育期, 一年生イネ科雑草 3 ～5 葉期; 7.5, 10, 15ml; 全面茎葉処理。	継続 実・ 継	実: 〔春～夏まき露地直 はん; スズメノカタビ ラを除く一年生イネ科 雑草〕 慣行土壌処理剤施用後, 生育期, 雑草 3～5 葉 期, 7.5～10ml, 全面 茎葉処理。 継: 薬量(単用処理)。
〔春～夏まき 露地直播〕	(4) NC-302/ ① フロアフル 〔日産化学〕	キザロホッ プエチル……………10	北海道道 南, 岩手 高冷地, 埼玉鶴ヶ 島, 新潟 高冷地, 愛知園研, 香川, 長 崎. (7)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 ・体系処理…慣行前(土壌)処 理剤施用後, 生育期, イネ 科雑草 2～6 葉期; 7.5, 10, 15ml; 全面茎葉処理。 ・単用処理…生育期, イネ科 雑草 2～6 葉期; 10ml; 全面茎葉処理。	新規 継	・試験年次不足。
〔春(～夏)ま き露地直播〕	(5) SL-236 乳 (ワンサイド) 〔石原産業〕	フルアジホッ プ……………32	長崎. (1)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 生育期, 一年生イネ科雑草 3 ～5 葉期; 5, 7.5, 10ml; 全 面茎葉処理。	継続 保留	・最終成績の提出後判定。
	(6) TM-362 ①乳	〔前 掲〕 ……………24	北海道道 南, 青森 畑作, 埼	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕	新規 継	・試験年次不足。

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施場所()=実施中(数)	試験の種類(ねらい, 対象雑草) 処理時期; 散布薬量(製品/a); 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
17. ニンジン (つづき)	(6) TM-362 ①乳 (つづき)		玉鶴ヶ島, 新潟高冷 地, 岐阜, 香川. (6)	・単用処理…生育期, 一年生 イネ科雑草 3~5 葉期; 7.5, 10m ^l ; 全面茎葉処理. ・体系処理…慣行前(土壌)処 理剤施用後, 生育期, 一年 生イネ科雑草 3~5 葉期; 7.5m ^l ; 全面茎葉処理.		
〔春~夏まき〕 〔露地直播〕	〔トーマン〕					
	(7) triflu- ralin 乳 (トレフ/ァノ サイド)	トリフルラリ ン……44.5	北海道中 央, 同道 南. (2)	適用性〔効果・薬害, キク科・ アブラナ科・カヤツリグサ科 を除く畑地一年生雑草〕 は種後, 雑草発生前; 20, 25 + linuron水和15g, 30m ^l ; 全面土壌処理.	新規 実	実: 〔寒地; 春~夏まき 露地直はん; キク科・ アブラナ科・カヤツリ グサ科を除く一年生雑 草〕 は種後, 雑草発生前, 20 m ^l +linuron水和15 g, 全面土壌処理.
〔春~夏まき〕 〔露地直播〕	〔堀野義, 武田薬品〕					
	(8) YH-44 乳	フルオロクロ リドン……24	野菜試久 留米. ＜自主試 験＞ (1)		(継)	(判定済)
	〔八洲化学〕					
18. ゴボウ	(1) NP-55 乳 (ナブ)	セトキシジム ……20	青森畑作, 千葉畑作, 長野南信, 鳥取, 大 分. (5)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 ①単用処理…生育期, 一年生 イネ科雑草 3~5 葉期; 15, 20m ^l ; 全面茎葉処理. ②体系処理…慣行前(土壌)処 理剤施用後, 生育期, 一年 生イネ科雑草 3~5 葉期; 15m ^l ; 全面茎葉処理.	継続 実	実: 〔春~夏まき露地直 はん, スズメノカタビ ラを除く一年生イネ科 雑草〕 ①単用; 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15~20 m ^l , 全面茎葉処理. ②体系; 慣行土壌処理 剤施用後, 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15 m ^l , 全面茎葉処理.
〔春~夏まき〕 〔露地直播〕	〔日本曹達〕					
	(2) SL-236 乳 (ワンサイド)	フルアジホッ プ……35	青森畑作, 千葉畑作, 長野南信, 鳥取, 大 分, 鹿児 島大隅. (6)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 生育期, 一年生イネ科雑草 3 ~5 葉期; 5, 7.5, 10m ^l ; 全 面茎葉処理.	新規 継	・試験年次不足.
〔春(~夏)ま き露地直播〕	〔石原産業〕					
19. サトイモ	(1) NP-55 乳 (ナブ)	セトキシジム ……20	山形, 栃 木, 千葉 畑作, 三 重, 鹿児 島, 大隅. (5)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 ①単用処理…生育期, 一年生 イネ科雑草 3~5 葉期; 15, 20m ^l ; 全面茎葉処理.	継続 実	・〔春植え露地普通; ス ズメノカタビラを除く 一年生イネ科雑草〕 ①単用; 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15~20 m ^l , 全面茎葉処理.
〔春植え〕 〔露地普通〕	〔日本曹達〕					

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 〔商品名〕 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()＝ 実施中(敬)	試験の種類〔ねらい、対象雑草〕 処理時期；散布量(製品／ a)等；処理方法	継続 の別 今回 判定	判定理由または内容
19. サトイモ (つづき) 〔春植え〕 〔露地普通〕	(1) NP-55 乳 (つづき) 〔日本曹達〕			②体系処理…慣行前(土壌)処理剤施用後、生育期、一年生イネ科雑草 3～5 葉期；15m ^l ；全面茎葉処理。		②体系；慣行土壌処理剤施用後、生育期、雑草 3～5 葉期、15m ^l 、全面茎葉処理。
	(2) SSH-55 乳 (コワーク) 〔春植え露地普通〕 (塩野義製薬)	トリフルラリン……………14 プロメトリン……………6	山形、栃木、千葉畑作、岐阜、熊本園芸、鹿児島大隅。(6)	適用性〔効果・薬害の検討、一年生雑草〕 植付後、雑草発生前；80, 90, 100m ^l ；全面土壌処理。	新規 継続	・試験年次不足。
20. ヤマノイモ 〔露地普通〕	(1) NP-55 乳 (ナブ) 〔日本曹達〕	セトキシジム……………20	青森畑作、千葉、長野南信、三重、鳥取。(5)	適用性〔効果・薬害、スズメノカタビラを除く畑地一年生イネ科雑草〕 ①単用処理…生育期、一年生イネ科雑草 3～5 葉期；15, 20m ^l ；全面茎葉処理。 ②体系処理…慣行前(土壌)処理剤施用後、生育期、一年生イネ科雑草 3～5 葉期；15m ^l ；全面茎葉処理。	継続 実	・〔春植え露地普通；スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 ①単用；生育期雑草 3～5 葉期、15～20m ^l 、全面茎葉処理。 ②体系；慣行土壌処理剤施用後、生育期、15m ^l 、全面茎葉処理。
	(2) SL-236 乳 (ワンサイド) 〔石原産業〕	フルアジホップ……………32	青森畑作、千葉、鳥取。(3)	適用性〔効果・薬害、スズメノカタビラを除く畑地一年生イネ科雑草〕 生育期、一年生イネ科雑草 3～5 葉期；5, 7.5, 10m ^l ；全面茎葉処理。	継続 実・ 継続	実：〔春植え露地普通；スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 慣行土壌処理剤施用後、生育期、5～10m ^l 、全面茎葉処理。 継続：単用処理。
	(3) trifluralin 粒 (トレファノサイド) 〔塩野義製薬〕	トリフルラリン……………2.5	北海道中央、同道南。(2)	適用性〔効果・薬害、キク科・アブラナ科・カヤツリグサ科を除く畑地一年生雑草〕 植付後、雑草発生前；400, 500, 600g；全面土壌処理。	新規 実	・〔寒地；春植え露地普通；キク科・アブラナ科・カヤツリグサ科を除く一年生雑草〕 植付後、雑草発生前、400～600g、全面土壌処理。
21. 未成熟ウモロコシ (スーパーシート系) 〔露地普通〕	(1) alachlor 乳 (ラッソー) 〔ラッソー普〕	アラクロール……………43	北海道、北海道中央。(2)	適用性〔効果・薬害、畑地一年生イネ科雑草〕 は種後発芽前、雑草発生前；20, 30m ^l ；全面土壌処理。	継続 実	・〔寒地；露地マルチ直はん；一年生イネ科雑草〕 は種後マルチ前、雑草発生前、20～30m ^l 、全面土壌処理。
	(2) alachlor 乳+atrazine水和	アラクロール……………43 アトラジン	北海道、北海道中央。(2)	適用性〔効果・薬害〕 は種後発芽前、雑草発生前；alachlor 乳+atrazine	継続 実	・〔寒地；露地マルチ直はん；現地混用；一年生雑草全般〕

作物名 〔作型・〕 栽培法	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(数)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量 (製品/a) 等; 処理方法	継続 の別 今回 判定	判定理由または内容
21. 未成熟ト ウモロコシ (スーパー シート系) (つづき) 〔露地普通〕	(2) alachlor 乳+atra- zine 水和 (つづき) 〔ラッソー普〕	………47.5		水和=20m ² /+15g, 30m ² /+ 15g; 全面土壌処理.		は種後マルチ前, 雑草 発生前, 20m ² /+15g, 30m ² /+15g, 全面土壌 処理.
〔マルチ〕	(3) CG-119 乳 (デュアル) 〔チバガイギー, 武田薬品〕	メトラクロール………50	北海道, 北海道中 央. (2)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 は種後マルチ前, 雑草発生前 ; 20, 30, 40m ² /; 全面土壌処 理.	継続 実	・〔寒地; 露地マルチ直 はん; 一年生(イネ科) 雑草〕 は種後マルチ前, 雑草 発生前, 20~30m ² /, 全面土壌処理.
	(4) CG-119 ・P 水和 (コダール) 〔チバガイギー, 武田薬品〕	メトラクロール………30 プロメトリン ………20	北海道, 北海道中 央. (2)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 は種後マルチ前, 雑草発生前 ; 20, 30, 40g; 全面土壌処 理.	継続 実	・〔寒地; 露地マルチ直 はん; 一年生雑草全般〕 は種後マルチ前, 雑草 発生前, 20~30g, 全 面土壌処理.
	(5) CG-123 フロアブル (ゲザノン) 〔チバガイギー, 武田薬品, クミア イ化学〕	アトラジン ………20 メトラクロール………30	北海道, 北海道中 央. (2)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年 生雑草全般〕 は種後マルチ前, 雑草発生前 ; 20, 30, 40m ² /; 全面土壌処 理.	継続 実	・〔寒地; 露地マルチ直 はん; 一年生雑草全般〕 は種後マルチ前, 雑草 発生前, 20~30m ² /, 全 面土壌処理.
22. キク 〔露地普通〕	(1) NP-55 乳 (ナブ) 〔日本曹達〕	セトキシジム ………20	秋田, 埼 玉, 三重, 香川, 福 岡園研. (5)	適用性〔効果・薬害, スズメノ カタビラを除く畑地一年生イ ネ科雑草〕 ①単用処理…定植活着後, 一 年生イネ科雑草 3~5 葉期 ; 15, 20m ² /; 全面茎葉処理. ②体系処理…慣行前(土壌)処 理剤施用後, 定植活着後, 一年生イネ科雑草 3~5 葉 期; 15m ² /; 全面茎葉処理.	継続 実・ 継	実: 〔露地普通; スズメ ノカタビラを除く一年 生イネ科雑草〕 ①単用; 定植活着後~ 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15~20m ² /, 全面茎葉処理. ②体系; 慣行土壌処理 剤施用後, 生育期, 雑草 3~5 葉期, 15 m ² /, 全面茎葉処理. 継: 体系処理の薬量(低 薬量).
23. 花木類 〔薬害(慣行)〕	(1) Dowco 453 乳 〔ダウ〕	ハロキシホッ プ………20	野菜試. (1)	基礎〔薬害〕 生育期(5月中~下旬); 50 m ² /; 全面花木茎葉処理.	新規 継	・樹種拡大(適用性試験 の実施).
〔慣行〕	(2) glypho- sate 液 (ラウンド アップ)	グリホサート ………41	山形, 新 潟, 福岡 園研. (3)	適用性〔効果・薬害, イネ科を 主体とした一年生雑草〕 生育期, 雑草生育期; 10, 15, 20m ² / < 1, 2.5 l>; うね間茎	新規 継	・試験年次, 例数不足.

作物名 (作型・栽培法)	薬剤名・剤型 (商品名) [旧試験名] [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(敬)	試験の種類 [ねらい, 対象雑草] 処理時期; 散布薬量 (製品/ a) 等; 処理方法	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
23. 花木類 (つづき) [慣行]	(2) glypho- sate 液 (つづき) [モンサント]			葉処理.		
[露地普通]	(3) Hoe-866 液 (バスタ) [バスタ協]	グルホシネ- ート……………18.5	埼玉. (1)	作用性 [花木類への葉害・影響] 生育期.	新規 継	・樹種拡大.
[露地普通]	(4) 同 上	同 上	東京, 新 潟, 兵庫. (3)	適用性 [効果・葉害, 畑地一年 生雑草全般] 生育期(春～夏期), 雑草生育 期; 30, 50, 75ml; うね間茎 葉処理.	継続 実・ 継	実: [露地普通; 一年生 雑草全般] 生育期, 雑草生育(初 期, 30～50ml; うね 間茎葉処理. 継: 薬量, 回数.
[露地普通]	(5) MK-616 水和 (ダイヤモンド) [三菱化成]	クロルフタリ ム……………50	東京, 長 野, 和歌 山, 福岡 園研. (4)	適用性 [効果・葉害, 一年生雑 草] 生育期, 雑草発生前～始期; 40, 50, 60 g; うね間株間土 壌処理.	新規 実・ 継	実: [露地普通; 一年生 雑草] 生育期, 雑草発生前～ 始期, 40～60 g, うね 間土壌処理. 継: 処理時期, 薬量, 樹 種.
[露地普通]	(6) MW-831 水溶 [明治製菓]	ビアラホス ……………20	山形, 神 奈川相模 原, 福井, 兵庫. (4)	適用性 [効果・葉害, 畑地一年 生雑草全般] 春期および夏期(2回処理), 雑草生育期; 30, 50, 75 g; う ね間茎葉処理.	継続 実・ 継	実: [露地普通; 一年生 雑草全般] 春～夏, 生育期, 雑草 生育(初)期, 1～2回, 30～50 g, うね間茎葉 処理. 継: 薬量, 処理回数.
[露地普通]	(7) MW-DC 水和 [明治製菓]	ビアラホス ……………12 DCMU……………18	山形, 長 野, 福井, 福岡園研. (4)	適用性 [効果・葉害, 畑地一年 生雑草全般] 春期および夏期(2回処理), 雑草生育期; 50, 75 g; うね 間茎葉・土壌処理.	継続 実・ 継	実: [露地普通; 一年生 雑草全般] 春～秋, 生育期, 雑草 生育(初)期, 1～2回, 50～75 g, うね間茎葉 ・土壌処理. 継: 樹種および薬量, 回 数と葉害.

昭和60年度追加分除草剤

薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	作物名 (作型・栽培法)	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(敬)	試験の種類 [対象雑草] 処理時期; 散布薬量 (製品/ a) 等; 処理方法	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
・ YF-65 液 (プリグロッ クス)	キャベツ [露地移植 (慣行)]	パラコート ……………10 ジクワット ……………14	長野中宿, 兵庫, 鹿 児島大隅, (3)	適用性 [一年生雑草全般] 活着後, 雑草生育期; 30, 40, 50ml; うね間茎葉処理.	新規 実・ 継	実: [露地移植; 一年生 雑草全般] (活着後～)生育期, 雑 草生育(初)期, 30～50

薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	作物名 [作型・栽培法]	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(数)	試験の種類 [対象雑草] 処理時期; 散布薬量 (製品/ a) 等; 処理方法	新 規 の 別 今 回 判 定	判定理由または内容
・ YF-65 液 (つづき) [アイシー アイ]	キャベツ (つづき)					m/l; うね間茎葉処理. 継: (処理時期)薬量.
	ハクサイ [露地移植 (慣行)]		青森畑作, 長野中信, 鹿児島大隅. (3)	適用性 [一年生雑草全般] 活着後, 雑草生育期; 30, 40, 50m/l; うね間茎葉処理.	新規 実 ・ 継	実: [露地移植; 一年生 雑草全般] (活着後~)生育期, 雑 草生育(初)期, 30~50 m/l, うね間茎葉処理. 継: 処理時期, 薬量.
	ホウレンソウ [露地直播 (慣行)]		青森, 長 野, 鹿児 島大隅. (3)	適用性 [一年生雑草全般] ①は種前, 雑草生育期(前作 後耕起前等); 30, 40, 50 m/l; 全面茎葉処理. ②生育期, 雑草生育期; 30, 40, 50m/l; うね間茎葉処 理.	新規 実 ・ 継	実: [露地直はん; 一年 生雑草全般] ①は種前, 雑草生育(初 期, 30~50m/l, 全 面茎葉処理. ②生育期, 雑草生育(初 期, 30~50m/l, う ね間茎葉処理. 継: (処理時期), 薬量.
	レタス [露地(慣行)]		青森畑作, 長野南信, 兵庫但馬. (3)	適用性 [一年生雑草全般] ①は種(定植)前, 雑草生育(初 期(前作後耕起前等)); 30, 40, 50m/l; 全面茎葉処理. ②活着後, 雑草生育期; 30, 40, 50m/l; うね間茎葉処 理.	新規 実 ・ 継	実: [露地移植; 一年生 雑草全般] ①は種または定植前, 雑草生育(初)期; 30 ~50m/l; 全面茎葉処 理. ②(活着後~)生育期, 雑草生育(初)期, 30 ~50m/l; うね間茎 葉処理. 継: (処理時期)薬量.
	ネギ [露地(慣行)]		埼玉, 兵 庫但馬, 鹿児島大 隅. (3)	適用性 [一年生雑草全般] ①は種(定植)前, 雑草生育(初 期(作付後耕起前等)); 30, 40, 50m/l; 全面茎葉処理. ②活着後, 雑草生育前; 30, 40, 50m/l; うね間茎葉処 理.	新規 実 ・ 継	実: [露地移植; 一年生 雑草全般] ①は種または定植前, 雑草生育(初)期, 30, ~50m/l; 全面茎葉 処理. ②(活着後~)生育期, 雑草生育(初)期, 30 ~50m/l, うね間茎 葉処理.
	タマネギ [秋まき露地 移植]		(長野), (兵庫淡 路), (佐 賀). (3)	適用性 [一年生雑草全般] ・定植前, 雑草生育期(前作 後耕起前等); 30, 40, 50 m/l; 全面茎葉処理. ・活着後, 雑草生育期; 30, 40, 50m/l; うね間茎葉処 理.	新規 保 留	・試験成績の提出後判定.

薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	作物名 〔作型・栽培法〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(数)	試験の種類〔対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/ a)等; 処理方法	新緑 の別 今回 判定	判定理由または内容
・ YF-65 液 (つづき)	アスパラガス 〔露地(慣行)〕		長野, (鹿 児島熊毛). (2)	適用性〔一年生雑草全般〕 ・ 植付(は種)前, 雑草生育(初 期(前作後耕起前等)); 30, 40, 50ml; 全面茎葉処理. ・ 定植後(生育期), 雑草生育 (初)期; 30, 40, 50ml; う ね間茎葉処理.	新規 実 ・ 継	実: 〔露地普通; 一年生 雑草全般〕 生育期, 雑草生育(初 期, 30~50ml, うね 間茎葉処理. <は種または定植前の 処理は次回以降> 継: 処理時期, 薬量.
	トマト 〔露地(慣行)〕		青森, 長 野中信, 熊本園芸. (3)	適用性〔一年生雑草全般〕 ①定植前, 雑草生育期(前作 後耕起前等); 30, 40, 50 ml; 全面茎葉処理. ②活着後, 雑草生育期; 30, 40, 50ml; うね間茎葉処理.	新規 実 ・ 継	実: 〔露地移植; 一年生 雑草全般〕 ①定植前, 雑草生育(初 期, 30~50ml, 全 面茎葉処理. ②(活着後~)生育期, 雑草生育(初)期, 30 ~50ml, うね間茎葉 処理. 継: (処理時期)薬量.
	ナス 〔露地(慣行)〕		野菜試久 留米, (青 森), (宮 崎). (3)	適用性〔一年生雑草全般〕 ①定植前, 雑草生育期(前作 後耕起前等); 30, 40, 50 ml; 全面茎葉処理. ②活着後, 雑草生育期; 30, 40, 50ml; うね間茎葉処 理.	新規 実 ・ 継	実: 〔露地移植; 一年生 雑草全般〕 ①定植前, 雑草生育(初 期, 30~50ml, 全 面茎葉処理. ②(活着後~)生育期, 雑草生育(初)期, 30 ~50ml, うね間茎 葉処理. 継: 処理時期, 薬量.
	キュウリ 〔露地等(慣 行)〕		新潟, 広 島. (2)	適用性〔一年生雑草全般〕 ①定植前, 雑草生育期(前作 後耕起前等); 30, 40, 50 ml; 全面茎葉処理. ②活着後, 雑草生育期; 30, 40, 50ml; うね間茎葉処 理.	新規 実 ・ 継	実: 〔露地移植; 一年生 雑草全般〕 ①定植前, 雑草生育(初 期, 30~50ml; 全 面茎葉処理. ②(活着後~)生育期, 雑草生育(初)期, 30 ~50ml; うね間茎 葉処理. 継: 処理時期, 薬量.
	スイカ 〔可能な方法〕		野菜試盛 岡, 同久 留米, 沖 縄. (3)	適用性〔一年生雑草全般〕 ・ 定植前, 雑草生育(初)期 (前作後耕起前等); 30, 40, 50ml; 全面茎葉処理.	新規 実 ・ 継	実: 〔露地移植; 一年生 雑草全般〕 定植前, 雑草生育(初) 期, 30~50ml, 全面 茎葉処理. 継: (処理時期)薬量.

薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	作物名 [作型・栽培法]	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(数)	試験の種類 [対象雑草] 処理時期; 散布薬量 (製品/ a) 等; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
・ YF-65 液 (つづき)	メロン [可能な方法]		野菜試験 岡, 同久 留米, 沖 縄. (3)	適用性 [一年生雑草全般] ・ 定植前, 雑草生育 (初) 期 (前作後耕起前等); 30, 40, 50 ml; 全面茎葉処理.	新規 実 ・ 継	実: [露地移植; 一年生 雑草全般] 定植前, 雑草生育 (初) 期, 30~50 ml, 全面 茎葉処理. 継: (処理時期) 薬量.
	イチゴ [露地等 (慣 行)]		埼玉, 兵 庫. (2)	適用性 [一年生雑草全般] ・ 定植前, 雑草生育期 (前作 後耕起前等); 30, 40, 50 ml; 全面茎葉処理.	新規 実 ・ 継	実: [露地移植; 一年生 雑草全般] 定植前, 雑草生育 (初) 期, 30~50 ml, 全面 茎葉処理. 継: (処理時期) 薬量.
	ダイコン [露地 (慣行)]		青森畑作, 長野, 鹿 児島大隅. (3)	適用性 [一年生雑草全般] ①は種前, 雑草生育期 (前作 後耕起前等); 30, 40, 50 ml; 全面茎葉処理. ②生育期, 雑草生育期; 30, 40, 50 ml, うね間茎葉処 理.	新規 実 ・ 継	実: [露地直はん; 一年 生雑草全般] ①は種前, 雑草生育 (初) 期, 30~50 ml; 全 面茎葉処理. ②生育期, 雑草生育 (初) 期, 30~50 ml, う ね間茎葉処理. 継: (処理時期) 薬量.
	ニンジン [露地等 (慣 行)]		(青森), 兵庫但馬, 鹿児島大 隅. (3)	適用性 [一年生雑草全般] ①は種前, 雑草生育期 (前作 後耕起前等); 30, 40, 50 ml; 全面茎葉処理. ②生育期, 雑草生育期; 30, 40, 50 ml; うね間茎葉処 理.	新規 実 ・ 継	実: [露地直はん; 一年 生雑草全般] ①は種前, 雑草生育 (初) 期, 30~50 ml, 全 面茎葉処理. ②生育期, 雑草生育 (初) 期, 30~50 ml, う ね間茎葉処理. 継: (処理時期) 薬量.
	ヤマノイモ [露地 (慣行)]		(兵庫但 馬), (鳥 取). (2)	適用性 [一年生雑草全般] ・ 植付前, 雑草生育期 (前作 後耕起前等); 30, 40, 50 ml; 全面茎葉処理. ・ 生育期, 雑草生育期; 30, 40, 50 ml; うね間茎葉処 理.	新規 実 ・ 継	実: [露地普通; 一年生 雑草全般] 生育期; 雑草生育 (初) 期, 50 ml, うね間茎 葉処理. <植付前処理は次回以 降検討> 継: 処理時期, 薬量.

[アイシー
アイアイ]

本誌掲載原稿の募集

本誌を愛読されている皆様より, 原稿を募集しておりますので, ご寄稿下さい。内容は,
除草剤・生育調節剤に関する記事であればよく, 400字詰原稿用紙で20~30枚位, 図・写真
の挿入も可。原稿料は, 当協会の規程によりお支払いいたします。

II 前回未検討、未提出分除草剤

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 （商品名） 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率（％）	試験実施場所（）＝ 実施中（効）	試験の種類〔ねらい、対象雑草〕 処理時期；散布薬量（製品／ a）等；処理方法	新継 の別 〔前回 判定〕 今回 判定	判定理由または内容
1. ネギ 〔秋まき露 地移植〕 (S. 59秋冬)	(1) B-3015・ P粒 (サターン バアロ) 〔クミアイ 化学〕	ベンチオカー ブ……………8 プロメトリン ……………0.8	埼玉，新 潟，岐阜， 鳥取． (4)	適用性〔効果・薬害，畑地一年 生雑草全般〕 定植後，雑草発生始期；400， 500，600 g；全面土壌処理．	新規 〔保留〕 実・継	実：〔秋まき露地移植； 一年生雑草全般〕 定植後，雑草発生始期， 500 g，全面土壌処理． 継：処理時期，薬量，薬 害，生育抑制．
〔秋まき露 地移植〕 (S. 59秋冬)	(2) MK-140 フロアブル 〔三菱化成〕	2-クロロ 6-ニトロ 3-フェノキ シアニリン …60 (W/V)	埼玉，鳥 取． (2)	適用性〔効果・薬害，畑地一年 生雑草全般〕 定植後，雑草発生前；20，30， 40 ml；全面土壌処理．	新規 〔保留〕 〔継〕	・（試験年次不足）．
2. ニンニク 〔秋植え露 地普通〕 (S. 59秋冬)	(1) ANK-553 乳 (ゴーゴーサン) 〔ゴーゴー サン普〕	ペンディメタ リン……………30	北海道中 央，（青 森）． (2)	適用性〔効果・薬害，キク科を 除く畑地一年生雑草全般〕 植付直後，雑草発生前；30， 40，50 ml；全面土壌処理．	新継 〔実・ 継〕	・前回判定どおり．
〔秋植え露 地普通〕 (S. 59秋冬)	(2) 同 上	同 上	北海道中 央，（青 森）． (2)	適用性〔効果・薬害，キク科・ ツユクサを除く畑地一年生雑 草全般〕 春期生育期，雑草発生前；30， 40，50 ml；全面土壌処理．	継続 〔実・ 継〕	・前回判定どおり．
〔慣行〕 (S. 59秋冬)	(2) MB-206 粒 (ロロックス) 〔丸和〕	リニュロン ……………32	（青森）． (1)	適用性〔効果・薬害，畑地一年 生雑草全般〕 植付後，雑草発生前；400， 500，600 g；全面土壌処理．	継続 〔実・ 継〕	・前回判定どおり．
〔露地普通〕 (S. 59秋冬)	(3) NP-55 乳 (ナブ) 〔日本曹達〕	セトキシジム ……………20	北海道中 央，岩手． (2)	適用性〔効果・薬害，畑地一年 生イネ科雑草〕 ①単用処理…生育期，一年生 イネ科雑草 3～5 葉期；15， 20 ml；全面茎葉処理． ②体系処理…慣行前（土壌）処 理剤施用後，生育期，一年 生イネ科雑草 3～5 葉期； 15 ml；全面茎葉処理．	継続 〔保留〕 実・継	実：〔露地普通；スズメ ノカタビラを除く一年 生イネ科雑草〕 ①単用；生育期，雑草 3～5 葉期，15～20 ml，全面茎葉処理． ②体系；慣行土壌処理 剤施用後，生育期， 雑草 3～5 葉期，15 ml，全面茎葉処理． 継：薬量．
3. ニラ	(1) 同 上	同 上	茨城． (1)	適用性〔効果・薬害，畑地一年 生イネ科雑草〕 ・単用処理…生育期，一年生 イネ科雑草 3～5 葉期；15， 20 ml；全面茎葉処理．	継続 〔実・ 継〕	・前回判定どおり．

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(○)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/a)等; 処理方法	新継 の別 前回 判定 前回 判定	判定理由または内容
3. ニラ (つづき) 〔露地普通〕 ・苗畑 (S.59春夏)	(1) NP-55 乳 (つづき)			・体系処理…慣行前(土壌)処理剤施用後, 生育期, 一年生イネ科雑草3~5葉期; 15m ² ; 全面茎葉処理.		
4. トマト 〔露地普通〕 (S.59春夏)	(1) MW-831 水溶 〔明治製菓〕	ビアラホス ……………20	東京. (1)	適用性〔反復処理における効果 ・薬害, 畑地一年生雑草全般〕 ・定植前, 雑草発生摘期~生育初期; 30, 40, 50 g; 全面茎葉処理. ・生育期, 生育(初)期; 30, 40, 50 g; うね間茎葉処理.	継続 〔実・継〕	・前回判定どおり.
5. ニンジン 〔秋~春まき〕 トンネルマルチ直播 (S.59秋冬)	(1) MW-831 水溶 〔明治製菓〕	ビアラホス ……………20	(埼玉鶴ヶ島), 長野,(三重). (3)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年生雑草全般〕 は種前, 雑草発生摘期; 30, 50, 75 g; 全面茎葉処理.	新規 〔実・継〕	・前回判定どおり.
〔秋~冬まき〕 露地マルチ またはトンネルマルチ (S.59秋冬)	(2) NC-302 ① フロアブル 〔日産化学〕	キザロホップ エチル……………10	長野南信, 兵庫但馬, (鳥取). (3)	適用性〔効果・薬害, 畑地一年生イネ科雑草〕 生育期, 一年生イネ科雑草2~6葉期; 7.5, 10, 15m ² ; 全面茎葉処理.	新規 〔継〕	・前回判定どおり.

Ⅲ 生育調節剤

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(○)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a)等<水量/a>; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. 野菜一般 〔慣行〕	(1) AU-29 液 (アミノアップ) 〔アミノアップ化学〕	ゼアチン … 500 ppm	北海道道南, 植調研. (2)	作用性〔育苗期の発根促進等〕 本葉2~3葉期および定植1週間前の計2回処理<3 l>; 300, 500m ² ; 茎葉処理.	継続 継	・処理時期, 濃度の検討(適用性試験の実施).
〔慣行〕	(2) FHGM 粉 〔福島環境整備〕	木炭末……………70 樹木エキス ……………20 ミネラルその他……………10	野菜試験岡. (1)	作用性〔活着促進, 生育促進〕 移植前等; 20 kg 前後(0, 20, 50, 100 kg 等); 土壌混和処理.	新規 継	・処理時期, 濃度の検討(適用性試験の実施).
〔慣行〕	(3) KMS-1 液 〔丸善薬品〕	光合成細菌	(野菜試), 植調研. (2)	基礎〔根の生育促進〔根の健全育成による成りつかれ防止〕等〕 ・定植前; 500m ² ; 土壌混和処理.	新規 継	・処理時期, 濃度の検討.

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中効	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/ a)等<水量/a>; 処理方法	新規 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. 野菜一般 (つづき) 〔慣行〕	(3) KMS-1 液 (つづき) 〔丸善薬品〕			・生育中期; 500ml; 土壌灌 注処理. 〔補助剤使用〕		
〔慣行〕	(4) S-327D 水和 〔住友化学〕	(ウニコナゾー ルD) …… 5	野菜試, 同盛岡, 同久留米. (3)	作用性〔矮化作用の検討〕	新規 継	・作物ごとに処理時期, 濃度を更に検討.
〔慣行〕	(5) SCM 液 〔昭和電工〕	未公開	植調研. (1)	作用性〔増収および品質向上〕 ・大豆…種子浸漬後3葉から 2週間ごと3回. ・なす…8葉期および12葉期. ・馬鈴薯…5~6葉期から3 週間ごと3回, 50倍液; 茎 葉処理.	新規 継	・処理時期, 濃度.
2. キャベツ 〔露地等慣行〕 栽培(苗床 処理)	(1) GF-030 乳 (グリーンナー) 〔日本グリン ナー〕	ワックス…10	宮城. (1)	適用性〔蒸散防止による根傷み の防止〕 定(移)植前日~当日の植付け 3時間前, 15倍液, 300ml/ m ² ; 茎葉散布処理.	継続 (実) 継	・無仮植苗等での検討 (実: 前判定とおり).
3. タマネギ 〔春まき露〕 地移植	(1) AU-29 液 (アミノアッ プ) 〔アミノアッ プ化学〕	ゼアチン … 500 ppm	北海道. (1)	作用性〔初期生育促進, 球肥大〕 2葉期… 0.03ml, 3葉期… 0.05ml, 5葉期… 25ml, 球肥大期… 30ml, 計4回; 茎葉散布処理.	新規 (継)	・適用性試験の実施.
〔春まき露〕 地移植	(2) MGC-140 液 〔三菱瓦斯 化学〕	塩化コリン ……………30	北海道, 北海道北 見. (2)	適用性〔肥大, 増収〕 肥大期(6月末~7月末); 250, 500, 1000 ppm; 茎葉散布処 理.	新規 継	・試験年次不足.
4. トマト 〔ハウス栽〕 培等	(1) TPS 液 〔東商トッ プス〕	未公開	(神奈川), (岐阜南 濃), 京 都. (3)	適用性〔生育促進, 品質向上, 早期出荷, 収量増〕 苗床…本葉展開時より定植時 まで約1週間ごとに計3回, 本畑…定植直後より収穫終了 時まで約1週間ごと; 100倍 液(50ml)/50l/a; 葉面(茎 葉), 散布処理.	新規 継	・試験年次, 例数不足.
5. ナス 〔露地等慣行〕 栽培(苗床 処理)	(1) GF-030 乳 (グリーンナー) 〔日本グリン ナー〕	ワックス…10	宮城. (1)	適用性〔蒸散防止による根傷み の防止〕 定(移)植前日~当日の植付け 3時間前, 15倍液, 300ml/ m ² ; 茎葉散布処理.	継続 実・ 継	実: 〔露地移植; 定植後 の萎れ防止(活着促進)〕 定植前日~当日(定植 3時間前まで), 20~ 10倍液, 300ml/m ² ,

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(〇)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/ a)等<水量/a>; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
5. ナス (つづき) 〔露地等慣行 栽培(苗床 処理)〕	(1) GF-030 乳 (つづき) 〔日本グリーン ナー〕					茎葉処理(萎れの恐れ のあるとき等使用のこ と). 継: 処理時期, 濃度.
6. キュウリ 〔露地等慣行 栽培(苗床 処理)〕	(1) 同 上	同 上	宮城. (1)	適用性〔蒸散防止による根傷み の防止〕 定(移)植前日~当日の植付け 3時間前15倍液, 300ml/m ² ; 茎葉散布処理.	継続 実・ 継	実: 〔露地移植; 定植後 の萎れ防止(活着促進)] 定植前日~当日(定植 3時間まで), 15倍液, 300ml/m ² , 茎葉処理 (萎れの恐れのあると き等使用のこと). 継: 処理時期, 濃度.
〔ハウス栽 培等〕	(2) T P S 液 〔東商トッ プス〕	未公開	野菜試験 岡, 福井, 京都. (3)	適用性〔生育促進, 品質向上, 早期出荷, 収量増〕 ・接木後~定植~収穫終了時 まで約1週間ごと; 1000倍 液; 茎葉処理. ・定植直後および収穫開始直 後から月2回; 50ml (1000 倍液程度); 土壌灌注.	新規 継	・試験年次不足.
7. メロン (アムス) 〔ハウスまた はトンネル 栽培等〕	(1) KT-30 液 〔協和醗酵〕	N-(2-ク ロール-4-ピ リジル)-N -フェニル尿 素………0.4	青森砂丘, 秋田. (2)	適用性〔着果促進, 処理濃度と 品質〕 開花前日, 当日等; 塗布処理 …2.5, 5, 10, 20 ppm; 散布 処理…0.5, 1, 2, 5 ppm; 果 梗部塗布または子房部散布.	継続 継	・収量性, 品質への影響 (濃度, 人工交配との 関係).
(コサック等). 〔ハウスまた はトンネル 栽培等〕	(2) 同 上	同 上	千葉砂地, 東京. (2)	適用性〔着果促進, 処理濃度と ネット形成について〕 開花前日, 当日等; 塗布処理 …100, 200, 400 ppm; 散布 処理…5, 10, 20, 40 ppm; 果 梗部塗布または子房部散布.	継続 実・ 継	実: 〔ハウスまたはトン ネルマルチ等; 着果促 進〕 開花前~当日, 200 ~ 500 ppm液, 果梗部塗 布処理. 継: 散布処理および品質 への影響.
8. イチゴ 〔促成等の 育苗床〕	(1) RF-81 水和 (リフレッ シュ) 〔ソフトシ リカ〕	SiO ₂ 72.96, Al 9.92, Fe 4.95, Ca 3. 27, K 0.13, Mg 痕跡, 水 3.81 秋田県八沢木 産2:1型 モンモリロナ イト粘土	(岩手南 部), 長 野, (奈 良). (3)	適用性〔窒素吸収抑制と花芽分 化促進〕 移植時より1週間ごと; 500, 800倍液; 茎葉散布処理.	継続 保留	・最終成績提出後判定.

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中(効)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/ a)等<水量/a>; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
8. イチゴ (つづき) 〔露地慣行〕	(1) S-327D 水和 〔住友化学〕	(ウニコナゾ ールD) … 5	(山形砂 丘地), (福井), (奈良), 兵庫, 福 岡園研. (5)	適用性〔ランナー抑制, 過繁茂 防止〕	新規 継	・試験年次不足.
9. ヤマノイモ 〔露地慣行〕	(1) 改良C- MH液 (エルノー) 〔ヒドラジン〕	マレイン酸ヒ ドラジドコリ ン塩……………39	青森畑作, (埼玉), (長野). (3)	適用性〔貯蔵中の萌芽防止〕 10月上~中旬の収穫前(枯葉 20日前頃); 100, 80倍液; 全 面茎葉処理.	継続 保留	・全成績提出後判定.
10. キク 〔鉢物慣行〕	(1) PP-333 フロアブル 〔アイシー アイ〕	パクロブトラ ゾール……………2	秋田, 埼 玉, 東京, 神奈川, (愛知園 研), 奈 良. (6)	適用性〔矮化効果による草姿改 良〕 ピンチ後10~15日頃; 散布処 理…25, 50 ppm<10ml/鉢> ; 灌注処理…2.5, 5 ppm<100 ml/鉢>; 茎葉散布または土 壌灌注.	新規 継	・試験年次不足.
11. 花木・緑 化木 〔露地等慣行〕	(1) IBA 液 (オキシベ ロン) 〔塩野義製薬〕	インドール酪 酸……………0.4	野菜試久 留米, 千 葉花植木, 和歌山. (3)	適用性〔移植後の活着・発根促 進, 植傷み防止〕 移植(直)後; 500, 1000倍液; 土壌灌注処理.	継続 実・ 継	実:〔ジンチョウゲ・シ ャリンバイ・カイツカ イブキ・ボックスウ ッド; 露地普通; 発根促 進〕 定植(直)後, 1000~500 倍液, 土壌灌注処理. 継: 濃度および他の樹種.
(生垣用樹種) 〔露地等慣行〕	(2) S-07 液 (スミセブン) 〔山本農薬, 住友化学〕	ウニコナゾ ール……………500 ppm	野菜試, 東京, 神 奈川相模 原. (3)	作用性〔刈込省力化, 着花増進〕 新梢伸長初期; 50 ppm; 茎 葉散布.	新規 (継)	・適用性試験の実施.
(花木・緑化 木: 低木) 〔露地普通〕	(3) PP-333 フロアブル 〔アイシー アイ〕	パクロブトラ ゾール……………25	野菜試, 東京, 神 奈川相模 原, 和歌 山. (4)	適用性〔刈込軽減効果〕 生育初期および生育期刈込み 5~10日後の2時期別圃場; 250, 500, 1000倍液; 茎葉散 布.	継続 実・ 継	実:〔ツゲ類・ツツジ・ サツキ類; 露地普通, 刈込軽減〕 生育(伸長)初期または 生育期刈込み, 5~10 日後, 500~250 倍 (500~1000 ppm) 液, 茎葉処理. 継: 処理時期, 濃度, 他 の樹種.
	(4) 同 上	同 上	千葉花植 木, 東京, (2)	適用性〔整枝およびせん定作業 の軽減〕 ・新梢伸長開始前; 5~20ml,	継続 継	・処理時期, 濃度, 処理 量, 処理方法.

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 (商品名) 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施 場所()= 実施中回数	試験の種類〔わらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/ a)等<水量/a>; 処理方法	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
11. 花木・緑 化木 (つづき) (緑化木・ 街路樹: 中・高木) 〔露地普通〕	(4) PP-333 フロアブル (つづき)			<2~3 l/樹>; 土壌灌 注処理. ・新梢伸長開始期; 500倍液 ; 茎葉散布.		
12. ポインセ チア 〔鉢物慣行〕	(1) PP-333 フロアブル 〔アイシー アイ〕	パクロブトラ ゾール……2	埼玉,(神 奈川), 奈 良. (3)	適用性〔矮化および着蕾増進〕 ピンチ2~3週間後; ①散布処理… 50, 100 ppm<10 ml/鉢>; ②灌注処理… 5, 10 ppm<100 ml/鉢>; 茎葉散布および土壌灌注処理.	継続 実・ 継	実: 〔鉢物普通; 節間伸 長抑制〕 摘心2~3週間後, 新 梢伸長初期; ① 400~200倍(50~100 ppm)液, 5~10ml/ 5号鉢, 茎葉処理. ② 400倍(5ppm)液, 50~100ml/5号鉢, 土壌灌注処理. 継: 品種, 作型.
13. ロードデ ンドロン 属 〔鉢物慣行〕	(1) 同 上	同 上	野菜試久 留米,(干 葉花植木), 三重,(福 岡園研), (4)	適用性〔矮化および着蕾増進〕 ピンチ2~3週間後; 散布処理… 100, 200ppm<10 ml/鉢>; 灌注処理… 10, 20ppm<100 ml/鉢>; 茎葉散布および土壌灌注処理.	継続 実・ 継	実: 〔ツツジ; 鉢物普通 ; 節間伸長抑制および 着蕾増〕 摘心2~3週間後, 新 梢伸長初期; 200~100倍(100~200 ppm)液, 5~10ml/ 5号鉢, 茎葉処理. 200倍(10ppm)液, 50 ~100ml/5号鉢, 土 壌灌注処理. 継: 濃度, 樹種.
14. ツバキ (鉢物) 〔鉢物慣行〕	(1) S-07 液 (スミセブン) 〔山本農薬, 住友化学〕	ウニコナゾー ル… 500 ppm	野菜試, 同久留米, 神奈川相 模原, 福 岡園研. (4)	適用性〔矮化および着蕾増進〕 新梢伸長期; 12.5, 25, 50ppm ; 茎葉処理.	継続 実・ 継	実: 〔鉢物普通; わい化 効果および着蕾増〕 新梢萌芽前~伸長初期, 50ppm液, 茎葉処理. 継: 処理時期, 濃度(回 数).
15. アジサイ (ガクアジサイ) 〔春~夏, 鉢植慣行〕	(1) S-07 液 (スミセブン) 〔山本農薬, 住友化学〕	ウニコナゾー ル… 500 ppm	(群馬), (干葉花 植木), 奈良,(福 岡園研), (4)	適用性〔矮化による草姿改良〕 散布処理… 10~25 ppm; 灌注処理… 0.5~1 ml; 茎葉散布および(土壌)灌注処 理.	継続 保留	・試験成績の提出を待っ て判定.

IV 前回未検討，未提出分生育調節剤

作物名 〔作型・栽培法〕	薬剤名・剤型 （商品名） 〔旧試験名〕 〔委託者名〕	有効成分および試験実施 場所（ ）＝ び含有率（％） 実施中回数	試験の種類〔ねらい〕 処理時期；散布薬量（製品／ a）等＜水量／a＞；処理方法	新継 の別	判定理由または内容
				〔前回 判定〕 今回 判定	
1. ピーマン 〔ハウス促成 または半促 成 (S.59秋冬)〕	(1) TD-83 水溶 (ナルト) 〔筒井商会〕	ビタミンB12 野菜試久 留米. (1)	適用性〔収量増〕 定植活着後から7日ごと；2 g；葉面散布および土壌灌注 処理. * 追肥普通区と追肥1.5倍量 区を設定.	新規 〔継〕	・前回判定どおり（試験 年次不足）.
2. キュウリ 〔促成また は半促成 (S.59秋冬)〕	(1) NS-80 水溶 (レンテミン) 〔野田食菌〕	椎茸菌糸体エ 福岡園研. キス：ゼアチ (1) ン等のサイト カイニン類 … 500 ppm	適用性〔収量増および品質向上〕 は種前(24時間種子浸漬)，鉢 上げ直後・育苗中期・定植時 (土壌灌注)，生育期3回（葉 面散布または土壌灌注）の計 7回処理； 種子浸漬… 100 ppm，他…20 ppm.	継続 〔保留〕 継	・処理法ごとの濃度，回 数等.
3. イチゴ (宝交早生) 〔親株床・ 本畑〕	(1) RF-81 水和 (リフレッ シュ) 〔ソフトシ リカ〕	SiO ₂ 72.96, 野菜試盛 Al 9.92, Fe 岡. 4.95, Ca 3. (1) 27, K 0.13, Mg 痕跡, 水 3.81 秋田県八沢木 産2：1型 モンモリロナ イト粘土	適用性〔チッソ吸収抑制，年内 収穫〕 親株移植時より7日ごと；本 畑収穫まで；1000, 2000倍； 茎葉散布.	新規 〔保留〕 継	・試験年次不足.

植 調 協 会 だ よ り

◎ 第50回役員会開催す

昭和60年12月26日(木)15時より，植調会館3階
会議室において開催し，次の議案につき審議された。

第1号議案 役員人事の件

鈴木昭夫理事(三井東圧化学株式会社)・清水
正徳理事(大妻女子大学)・茅野三男理事(北海道
支部長)・藤巻竹千代(東北支部長)・末沢一男理
事(近畿中国四国支部長)・故石本信夫理事(保土
谷化学工業株式会社)の各氏が退任し，佐藤彰
夫(三井東圧化学株式会社)・福田紀文(蚕糸科学

研究所)・島崎佳郎(北海道支部長)・山崎慎一
(東北支部長)・原田哲夫(近畿中国四国支部長)
・増淵保二(保土谷化学工業株式会社)の各氏が
理事に選任された。

第2号議案 任期満了に伴う役員改選の件
理事・監事の任期満了による退任および選任
が行われ，次の者が新役員に選任された。

【理事】杉頼夫(会長)，吉沢長人(専務)，吉田孝
二(常務)，島崎佳郎，山崎慎一，国武正彦，宮
田喜次郎，原田哲夫，井上利志栄，家木裕隆，石
倉秀次，大森正己，佐藤彰夫，渋谷正弘，上井
忠太郎，瀬島基太郎，宗展生，西貞夫，早川充，
福田紀文，福田秀夫，星鉦治，増淵保二，松下

広晴, 松田寿郎, 森本至郎, 吉見康弘, [以上27名]。

【監事】長田耕栄, 難波梶良, [以上2名]。

◎ 吉沢専務理事藍綬褒章の栄に浴す

当協会専務理事吉沢長人氏は、農林省および当協会を通じ永年にわたり除草剤および生育調節剤の研究事業に貢献し、特に当協会の設立と運営などその研究実施体制の整備に尽力し、この研究事業の推進に寄与された功績により、昨年11月21日藍綬褒章を受章されました。また、これを祝い八洲化学工業株式会社小島社長が發起人代表となり、有志による受章祝賀会が12月18日午後6時から虎の門パストラル桔梗の間において約137名にのぼる関係者の参加を得て盛大に行われた。

◎ 人 事 異 動

昭和61年1月8日付

編 集 後 記

昨秋の気象庁の長期予報が大幅に外れ、日本列島は冷凍庫に入れられたような寒い日々が続き、日本海側は豪雪に見舞われている。大太平洋側に接岸する筈の黒潮も、三宅島辺りから東に向きを変え、内房の金谷では潮温が9℃と、かつてない低温となった。かつて、無霜地帯といわれた南房の白浜や千倉でも-3℃を記録し、せっかく咲き始めた菜の花が寒さにふるえている。ある気象学者は、ハレー彗星が惑星に近づく年には、何らかの異常現象が生ずると予測したが、南米メキシコの大地震、ネバドデルルス火山の大噴火など、不気味な様相を呈している。火山列島日本の上に、このような異常の発生しないことを祈るのみである。このような異常気象を予想した上で、農業計画を立てる農村

命 研究所勤務 第二研究室長 柴谷得郎

命 事務局 技術第二課長兼技 竹下孝史
術第一課長

命 事務局勤務 技師 長山 優

昭和60年12月31日付

退職 研究所 技師 森 聡美

◎ 会議開催日程のお知らせ

- ・昭和60年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：昭和61年2月6日(木) 10:00~17:00

場所：番町グリーンパレス(千代田区二番町2, TEL. 265-9251)

- ・昭和60年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会

日時：昭和61年2月27日(木) 10:00~17:00

場所：たちばな会館(静岡市緑町10-30, TEL. 0542-46-7488)

では、頭の痛む問題が多すぎる。貿易自由化による外国からの農産物攻勢を受けながら農業を営まなければならない農民を、一体、誰が守ってくれるのであろうか。要は、自分で自分を守らなければならない術を考えねばなるまい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)832-4188(代)

昭和61年1月発行

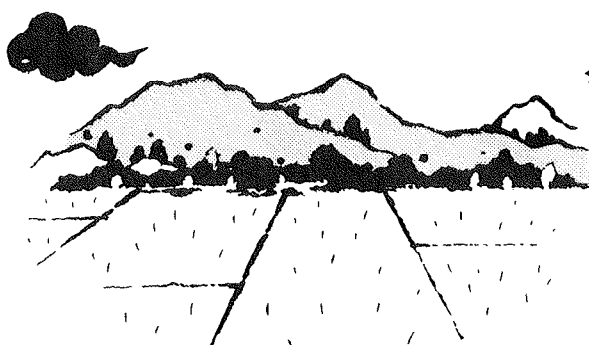
植調第19巻第10号

定価400円(送料170円)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)833-1821番(代)

一発いちはん!



●水田除草剤

新発売

ヨートル[®]粒剤

- 安定した高い除草効果
- 水稻への安全性が高い
- 環境への影響が少ない

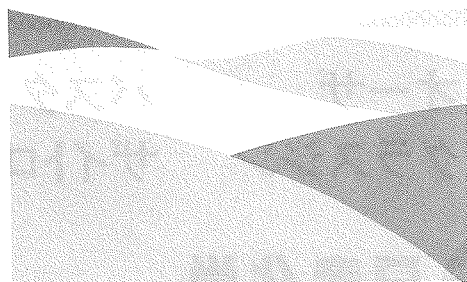
ヨートル普及会



「確かさ」で選ぶ…バイエルの農薬
効きめ鮮やか、畑いきいき。

センコル[®]水和剤

ばれいしょ、アスパラガスの除草剤



特 長

- トリアジン系の土壌及び雑草処理剤です。
- イネ科、広葉、多年生雑草など適用草種の幅が広く、雑草4～5葉期まで使え殺草幅が広い。
- 土壌吸着が強く長期間雑草の発生を抑えます。
- 毒性が低く人畜、魚介類に心配はありません。

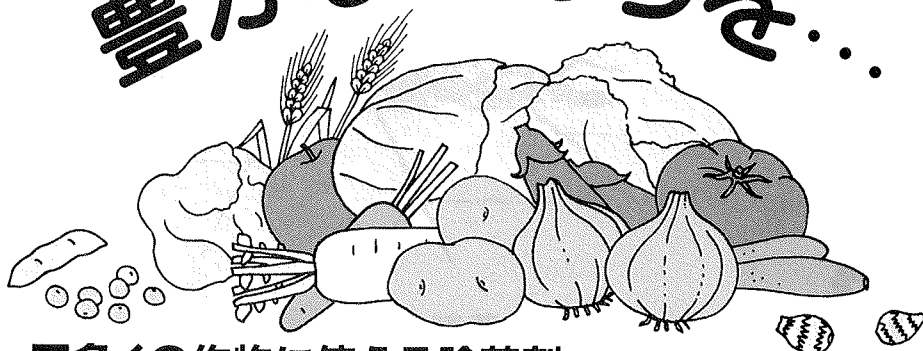
[®]は登録商標

日本特殊農薬製造株式会社

東京都中央区日本橋本町2-4 ☎ 103

※ご愛用者リストを製作中です。説明資料を進呈いたしますのでご一報下さい。

豊かなみのりを...



■多くの作物に使える除草剤

トレファノサイド® 乳剤
粒剤2.5



シオノギ製薬

大阪市東区道修町3-12 〒541



★品質向上と安定増収に

信頼で
日産の農薬!



デルカット

オーザ

バスタ

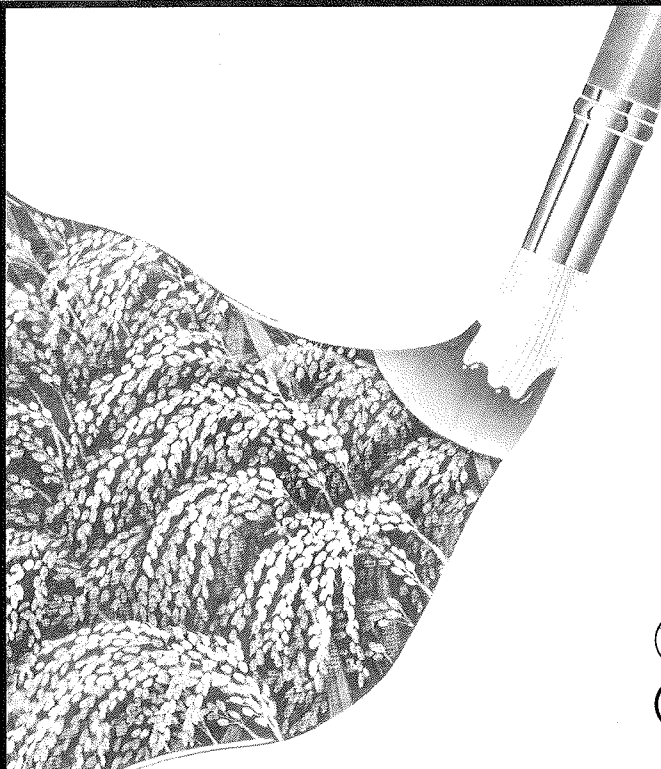
ロンスター

グラスジン

ザイトロン



日産化学



豊かさを描いて。

豊かさに、確かさをプラスして、
さらに美しさを求める。
ホクコーは、より質の高い実りの
世界を、今日も描き続けます。

モーダウン 粒剤
デルカット 乳剤
マーシエット 粒剤 2.5
クサカリン 粒剤 25
グラキール 粒剤 1.5
 粒剤 2.5

取扱い
 農協・経済連・全農

北興化学工業株式会社

☆ 1986年版が出来ました……

Short Review of 5th edition Herbicides 1986

B5判 278頁 定価5,000円

最新情報に基づいた世界の除草剤545種の英文
による基礎的データ集。剤型、製造元、構造式、
性質、毒性、適用等を記載。

★日本図書館協会選定図書

原色 作物の薬害

行本峰子・浜田虔二／著 A5判 272頁上製本 定価4,000円

本書は、今までタブー視されていた作物に対する薬
害問題と真正面から取り組み、その症状、要因、対策
等を解説。症状カラー写真250点使用。

原色図鑑

雑かん木の見分けかた

—造林地編145種— B6判 126頁 定価1,500円

平地林から高原林までに生育するごく一般的な樹
木、つる性植物、ささ類など145種をとりあげ、カ
ラー写真と図で示したポケット図鑑。

★日本図書館協会選定図書

原色図鑑 土壌害虫

氣賀澤和男／編集 B6判 271頁 定価3,900円

ネキリムシ類やコガネムシ類、センチュウ類など農業
上重要な土壌害虫60種について豊富なカラー生態
写真で解説。専門研究者46人の分担執筆。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6 (植調会館) ☎03(833)1821

流れは一発、ワンオール



ワンオール粒剤の特長

広範な雑草を防除

ノビエなどの1年生雑草はもとより、ウリカワ、ホタルイなどの多年生雑草まで広範な雑草に高い除草効果を示します。

安定した除草効果

処理適期幅が広く、気象の年次変動や雑草のダラダラ発生の状態においても安定した除草効果を発揮します。

抑草効果は長期間

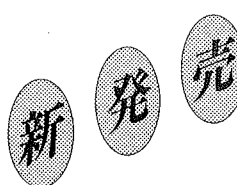
雑草の発生を長期間にわたって抑えます。そのため中期剤を省略することができます。

高い安全性

水稻に対する安全性が高いうえ、温度や土壌条件によって影響されることも少ないので、安心して使えます。

人畜、魚介類に安全

人畜に対する毒性は低く、魚介類に対しても影響の少ない除草剤です。



水田初期一発処理除草剤

ワンオール[®]

粒剤



農 協
経 済 連
全 農

ワンオール協議会

全国農業協同組合連合会
日本チバガイギー株式会社

石原産業株式会社
八洲化学工業株式会社

事務局 石原産業株式会社
東京都千代田区富士見2-10-30

資料請求券
ワンオール



効きめの長さを、あらゆる雑草で 証明するラウンドアップ。

「枯らしてもすぐ生える」というイライラに終止符。

ラウンドアップは、雑草の葉から入って根まで枯らし
ます。根まで枯らしてしまえば、どんな雑草でも、長い間
抑えることができます。

有用植物の根から吸収されません。

ラウンドアップは、いったん地面に落ちると、ただちに土
の粒子に吸着され薬効を失います。ですから有用植
物の根からは吸収されませんので作物には安全です。

取扱いが容易で、安心してご使用できます。

ラウンドアップは、動・植物の体を構成しているアミノ酸
という自然な物質が主成分ですから、きわめて安全性
が高く、取扱いも容易で安心してお使いいただけます。



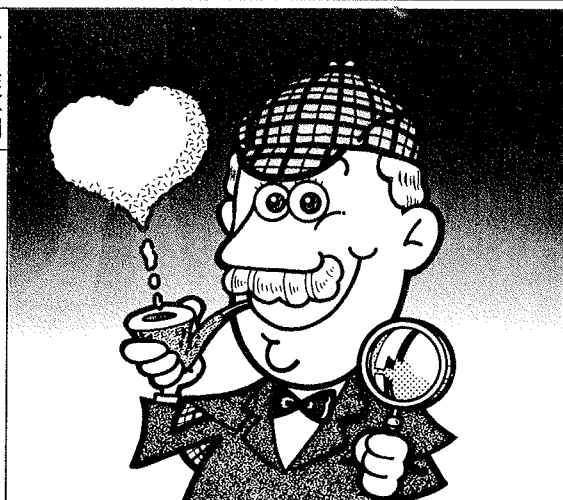
®米国モンサント社登録商標

●ラウンドアップを詳しく説明したパンフレットを差し上げております。下記の
住所までお申し込みください。

ラウンドアップ普及会クマイ化学工業(株)・三共(株)
事務局 日本モンサント株式会社 農薬事業部
〒100 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル Tel.(03)287-1251

資料請求券
P-1000

水田除草剤



稲の気持ちが わかります。

水田に、はびこる悪い雑草。
その解決策は、
稲の気持ちがわかるか、
どうかということです。
稲の気持ちがわかる
クミカの除草剤です。



農協・経済連・全農

●田植の次は、さあ 水田初期除草剤
クミアイ

ソルネット 粒剤

●稲に安全、一発処理のホープ
シルベノン 粒剤

●確かな一発、初期一発処理水田除草剤
クミアイ

クサホープ 粒剤

●初期一発でも、体系使用でも幅広く使える
グラボック 粒剤

●安全性・経済性・高い選別
中期除草剤

クミリッドSM 粒剤

●初期除草剤 **サターンS** 粒剤

サターンM 粒剤

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社 東京都台東区池之端1-4-26 電話110-91



確かな効き目で、農作業にゆとりを作る！

マメットSM 粒剤

(水田中期除草剤)

- ノビエの3.5葉でも効果バッチリ！
- 多年生雑草にも効果抜群！
- 確実な雑草防除で、経済的！
- 残効が長く、省力的！
- 稲に安全、他剤の近接散布もOK！

■雑草の発生に合わせて姉妹品の

マメット 粒剤、**オードラムM** 粒剤

もお使いください。

モリノート普及会